

---

狛江市 若者生活実態調査  
集計報告書

---

令和6年3月

狛江市

# 目 次

<b>調査の概要</b> .....	1
調査の目的.....	1
調査の方法.....	1
この報告書の留意点.....	1
<b>集計結果</b> .....	2
あなた自身のことを教えてください.....	2
あなたの現在の状況を教えてください.....	7
あなたの日ごろの生活などについて教えてください.....	9
あなたの悩みごとや不安について教えてください.....	13
あなたの結婚観について教えてください.....	22
あなたの「子どもをもつこと」についての考えを教えてください.....	25
<b>自由記入設問 記述（全文）</b> .....	30

# 調査の概要

## 調査の目的

本調査は、若者の日常生活の様子や考えなどをうかがい、子ども・若者の支援に役立てるとともに、令和7年度からの「第3期こまえ子ども・若者応援プラン」での取組等を検討するための基礎資料として実施したものです。

## 調査の方法

### (1)調査対象

住民基本台帳に登録された子のない世帯の満18歳から39歳の方から無作為に抽出した1,000人

### (2)調査時期

令和5年12月6日（水）から12月19日（火）まで

### (3)調査方法

郵送による配布・回収及びWEB回答を併用

### (4)配付・回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率	うちWEB回答数	WEB回答率
1,000票	206票	20.6%	105票	10.5%

## この報告書の留意点

この報告書の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

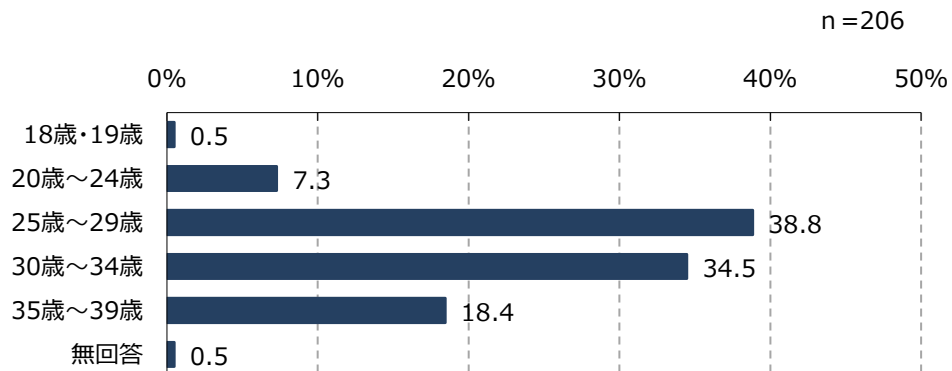
- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、すべて小数第2位以下を四捨五入、小数第1位までを表記します。このため、すべての割合の合計が100%にならないことがあります。また、複数回答（2つ以上選ぶ問）の設問では、すべての割合の合計が100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果又は、回答者が皆無であることを表します。
- 図表の記載にあたり調査票の設問文、グラフ及び文章中の選択肢を一部簡略化している場合があります。

## 集計結果

### あなた自身のことを教えてください

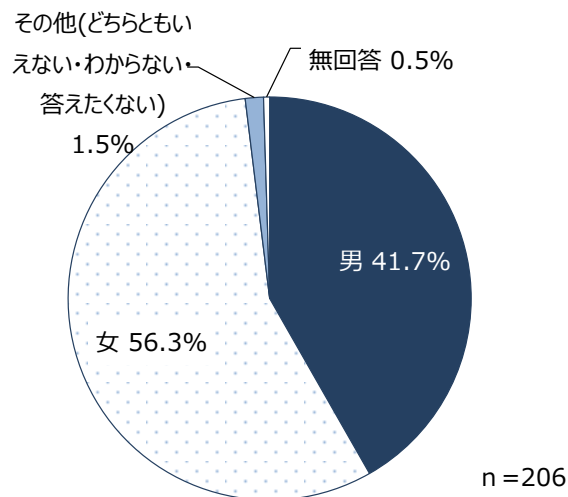
問1. あなたの年齢を教えてください。

「25歳～29歳」が38.8%と最も多く、次いで「30歳～34歳」が34.5%、「35歳～39歳」が18.4%、「20歳～24歳」が7.3%、「18歳・19歳」が0.5%となっています。



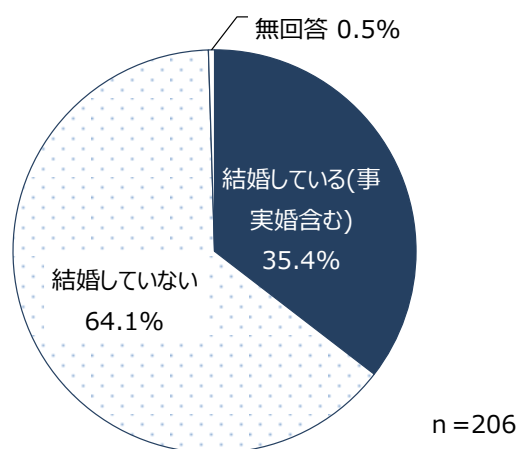
問2. あなたの自認する性別を教えてください。

「女」が56.3%、「男」が41.7%、「その他(どちらともいえない・わからない・答えたくない)」が1.5%となっています。



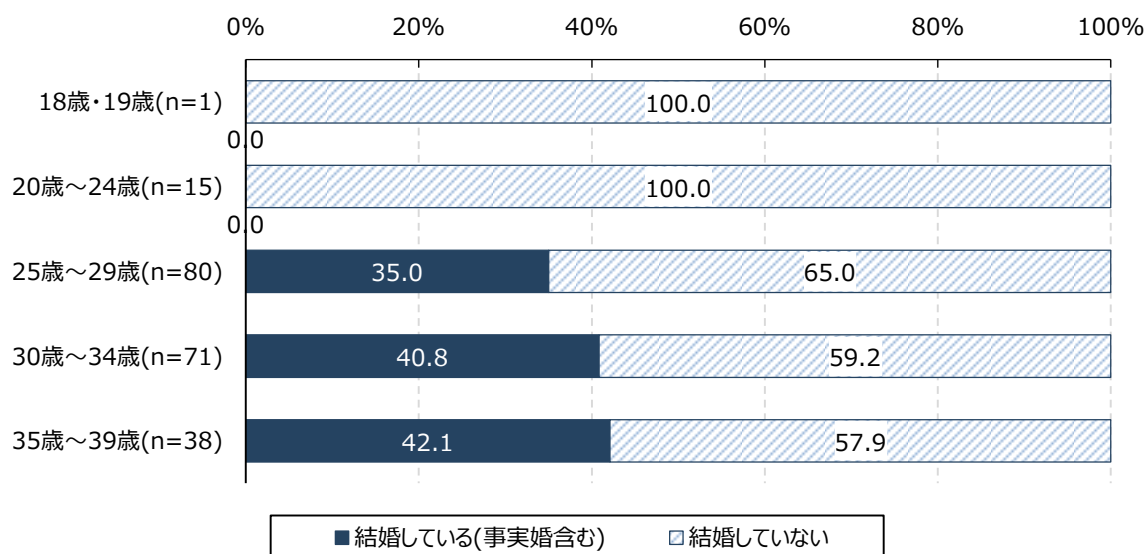
### 問3. あなたは結婚していますか。

「結婚している(事実婚含む)」が35.4%、「結婚していない」が64.1%となっています。



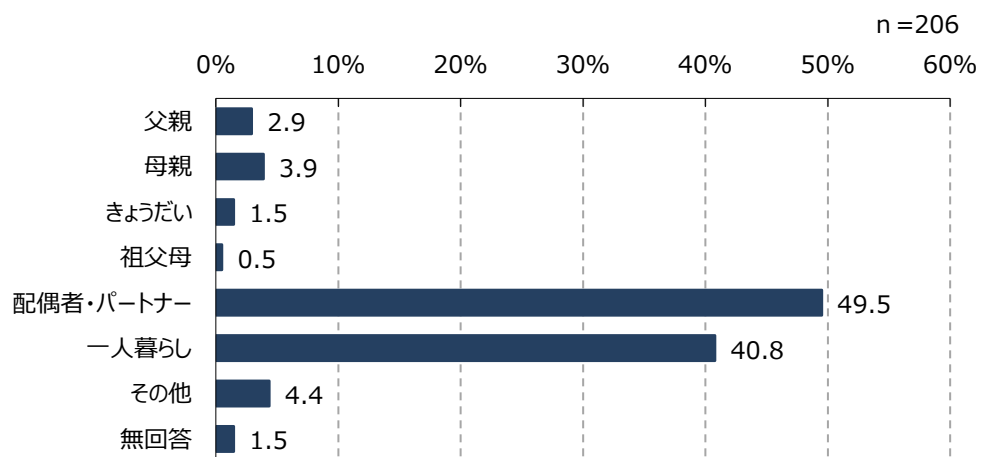
#### 【年齢別：婚姻の有無】

結婚の有無を年齢別にみると、年齢が高くなるにつれ「結婚している（事実婚含む）」の割合が高くなっています。



問4. 一緒に住んでいる家族を教えてください。 (複数回答)

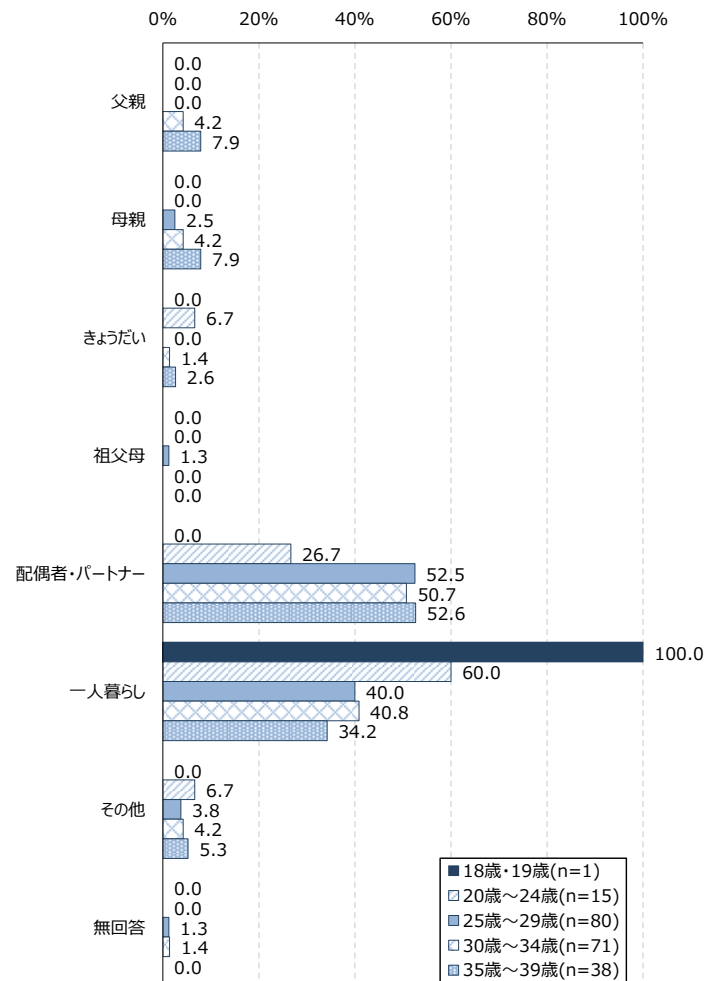
「配偶者・パートナー」が 49.5%と最も多く、次いで「一人暮らし」が 40.8%、「その他」が 4.4%、「母親」が 3.9%、「父親」が 2.9%となっています。



## 【年齢別：同居の家族】

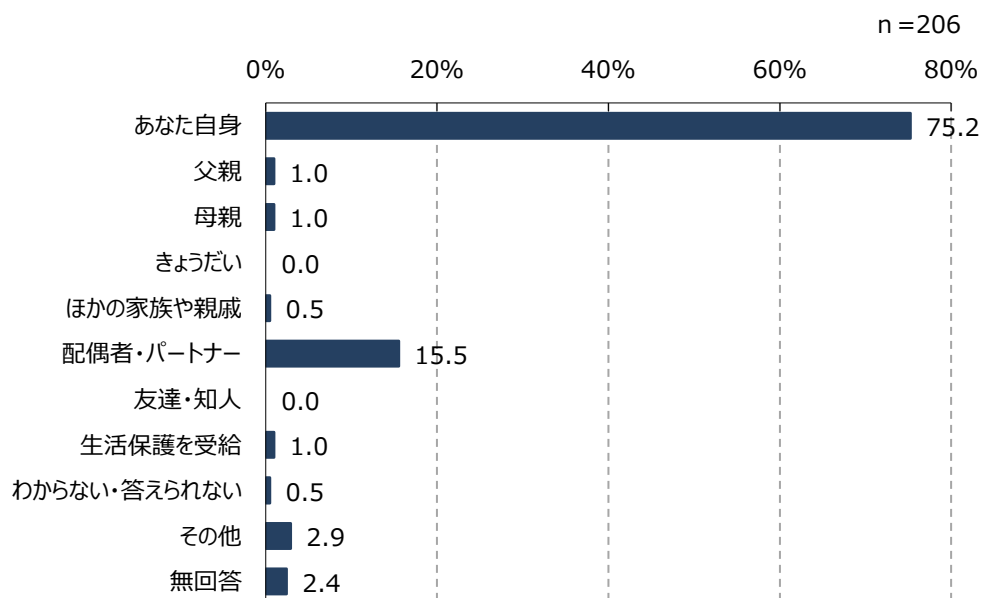
一緒に住んでいる家族を年齢別にみると、24歳以下では「一人暮らし」の割合が高く、25歳～39歳では「配偶者・パートナー」の割合が高くなっています。

また、割合は小さいですが、年齢が高くなるにつれ、「父親」「母親」の割合が高くなっています。



問5. あなたの家の生計を立てているのは主にどなたですか。

「あなた自身」が 75.2%と最も多く、次いで「配偶者・パートナー」が 15.5%、「その他」が 2.9%、「父親」が 1.0%、「母親」が 1.0%となっています。

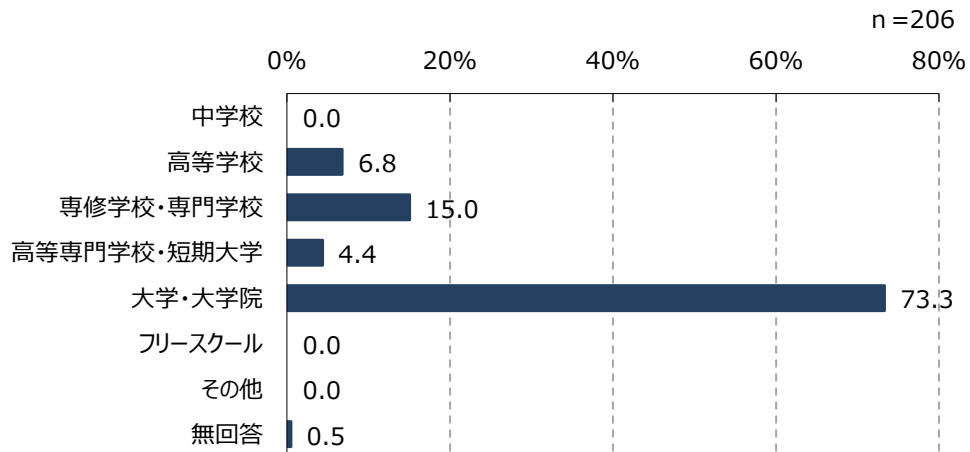




## あなたの現在の状況を教えてください

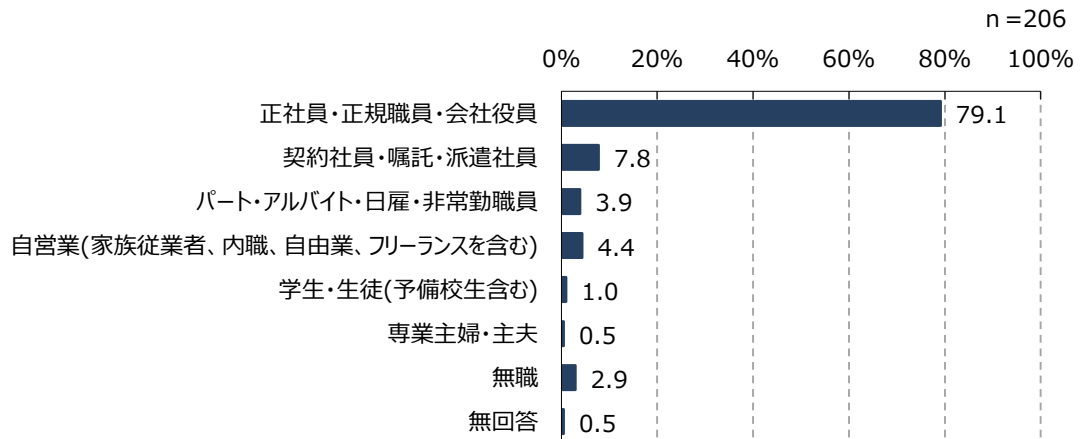
問6. あなたが最後に卒業した(中退等を含む)学校等はどれですか。在学中の方は、現在在学している学校等をお答えください。

「大学・大学院」が73.3%と最も多く、次いで「専修学校・専門学校」が15.0%、「高等学校」が6.8%、「高等専門学校・短期大学」が4.4%となっています。



問7. あなたは現在働いていますか。該当するものをお答えください。

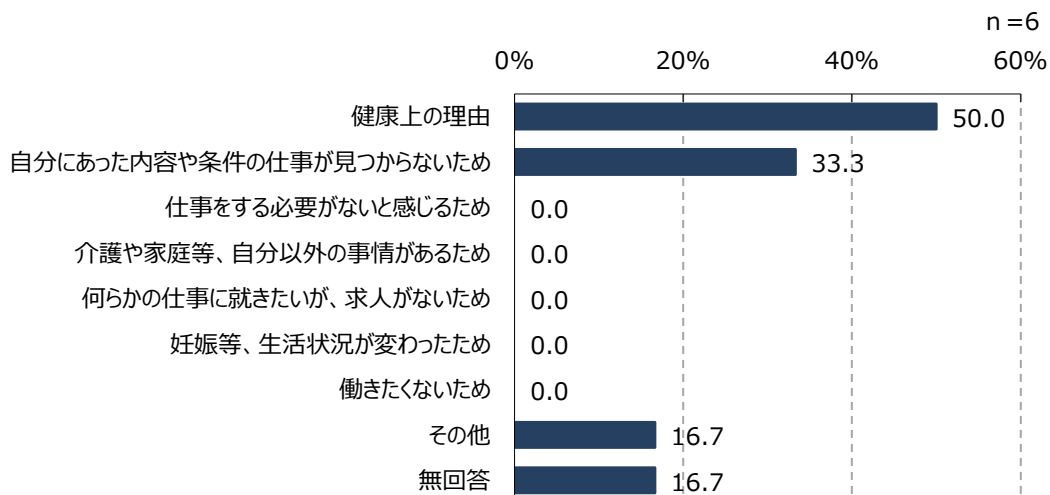
「正社員・正規職員・会社役員」が79.1%と最も多く、次いで「契約社員・嘱託・派遣社員」が7.8%、「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む)」が4.4%、「パート・アルバイト・日雇・非常勤職員」が3.9%、「無職」が2.9%となっています。



問7で「7. 無職」とお答えの方に伺います。

問8. あなたが現在働いていない理由を教えてください。（複数回答）

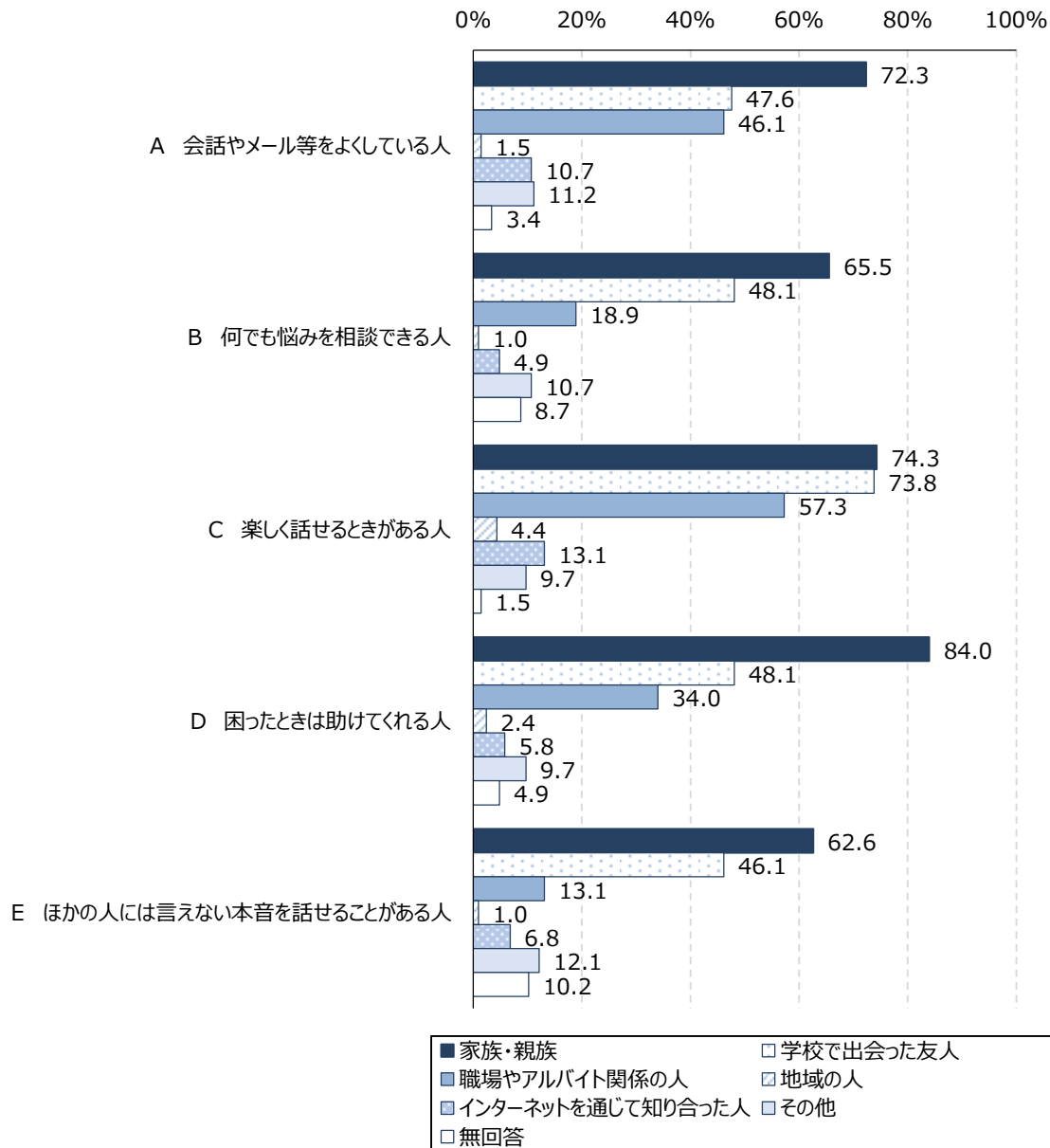
「健康上の理由」が50.0%と最も多く、次いで「自分にあった内容や条件の仕事が見つからないため」が33.3%、「その他」が16.7%となっています。



あなたの日ごろの生活などについて教えてください

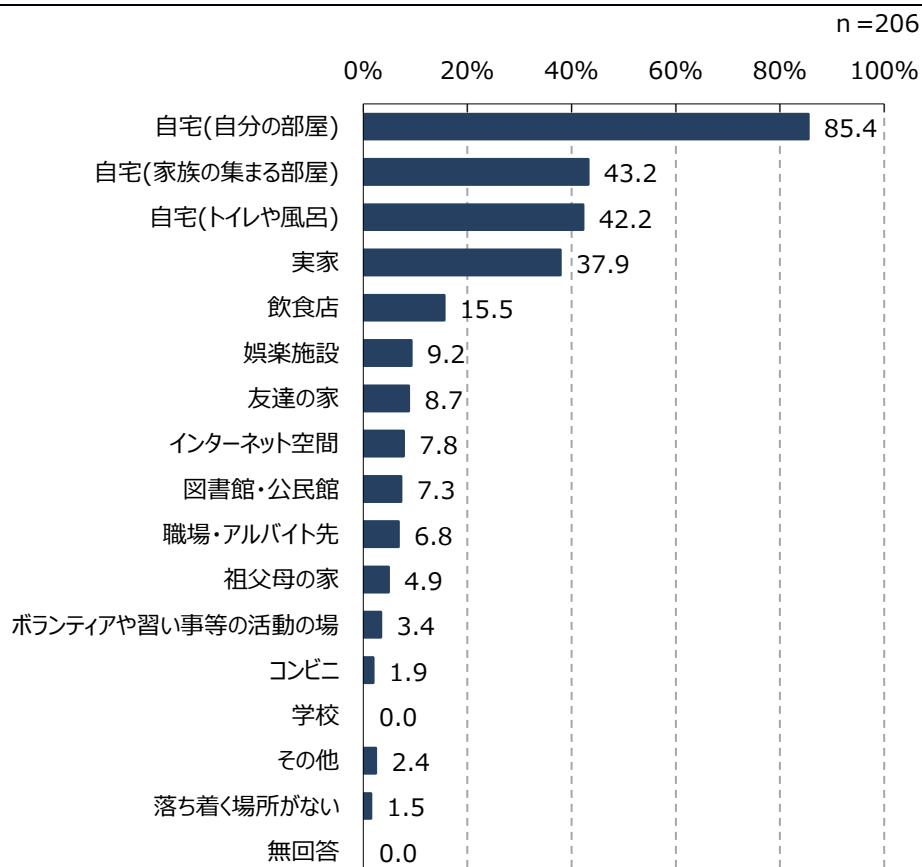
問9. 人との関わり・つながりはどのようなものですか。以下の A~E の項目について、あてはまる人をお答えください。(複数回答)

人との関わり・つながりについて、A~E のいずれも「家族・親族」が最も多く、次いで「学校で出会った友人」、「職場やアルバイト関係の人」の順となっています。



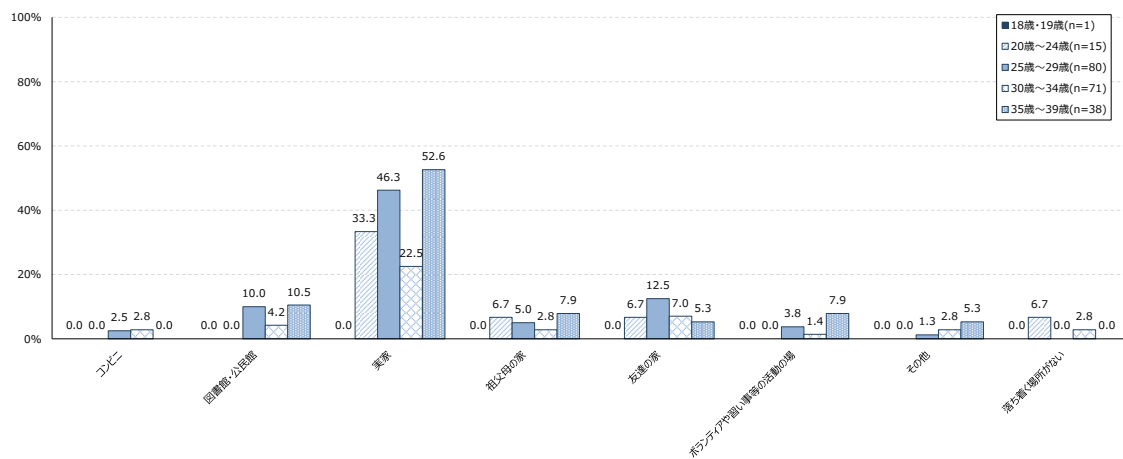
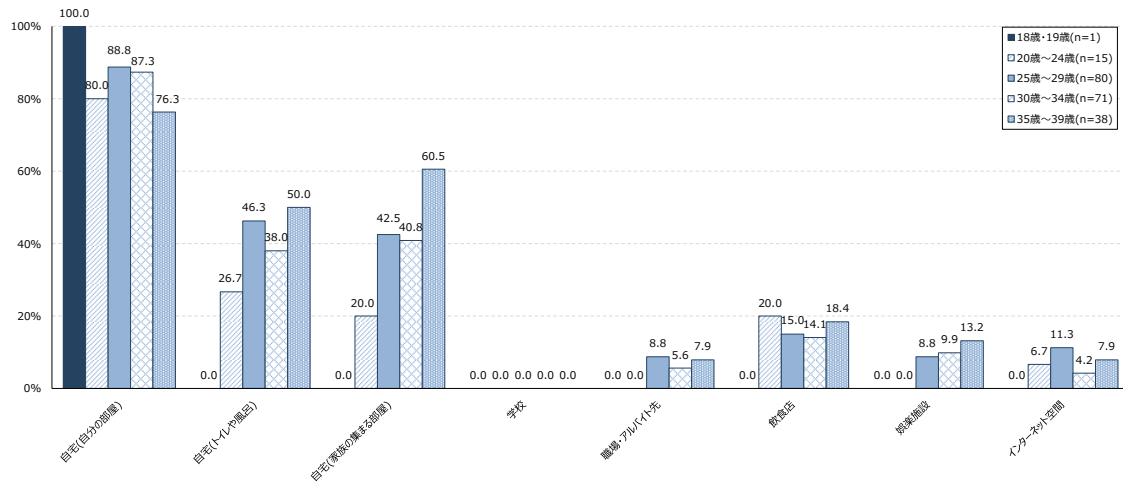
問 10. あなたが日常的にほっとできる、安心できる場所はどこですか。 (複数回答)

「自宅(自分の部屋)」が 85.4%と最も多く、次いで「自宅(家族の集まる部屋)」が 43.2%、「自宅(トイレや風呂)」が 42.2%、「実家」が 37.9%、「飲食店」が 15.5%となっています。



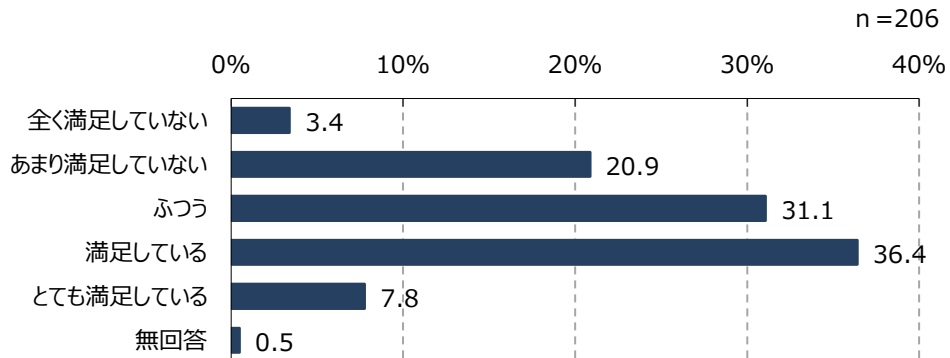
## 【年齢別：日常的に安心できる場所】

日常的に安心できる場所を年齢別にみると、いずれの年齢層も「自宅（自分の部屋）」の割合が8割を超え高く、また、自分の部屋以外の「自宅」や「実家」の割合も高くなっています。一方、20歳～24歳の6.7%は「落ち着く場所がない」と回答しています。



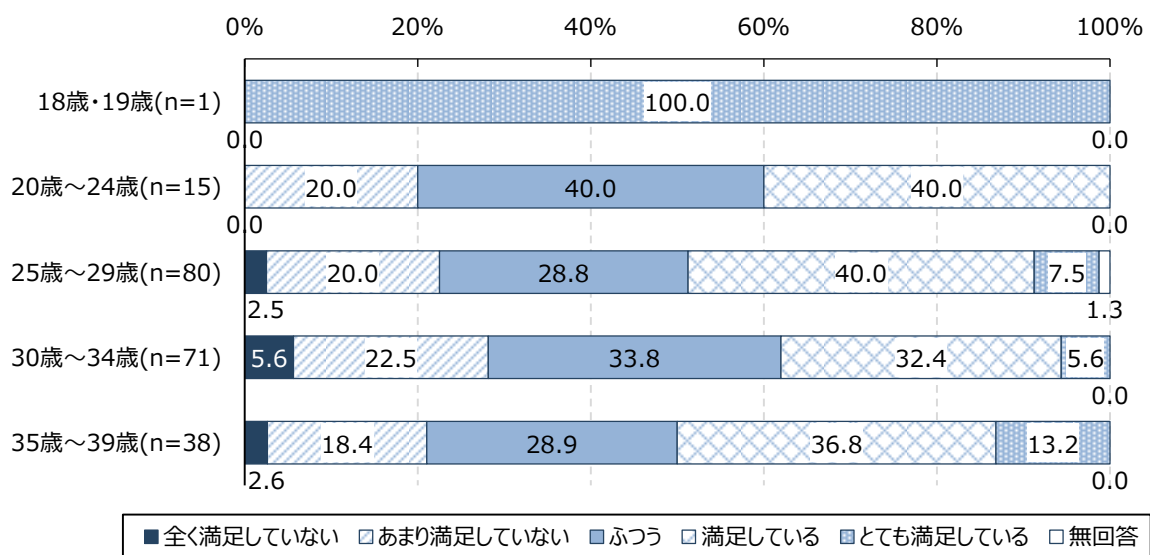
問 11. 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。

「満足している」が36.4%と最も多く、次いで「ふつう」が31.1%、「あまり満足していない」が20.9%、「とても満足している」が7.8%、「全く満足していない」が3.4%となっています。



【年齢別：生活の満足度】

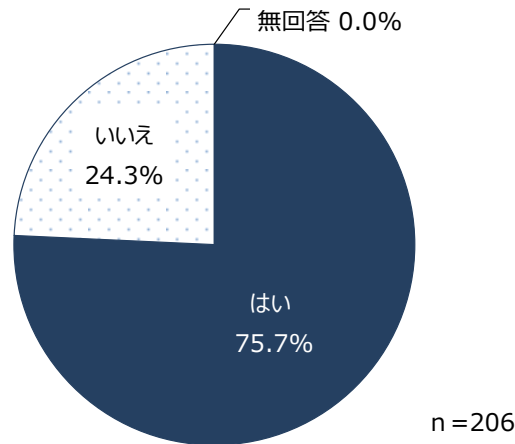
現在の生活の満足度を年齢別にみると、年齢による相関関係はみられませんが、「満足している」と「とても満足している」を合わせた“満足”の割合は約4~5割となっています。



## あなたの悩みごとや不安について教えてください

問 12. あなたは現在、悩み事がありますか。

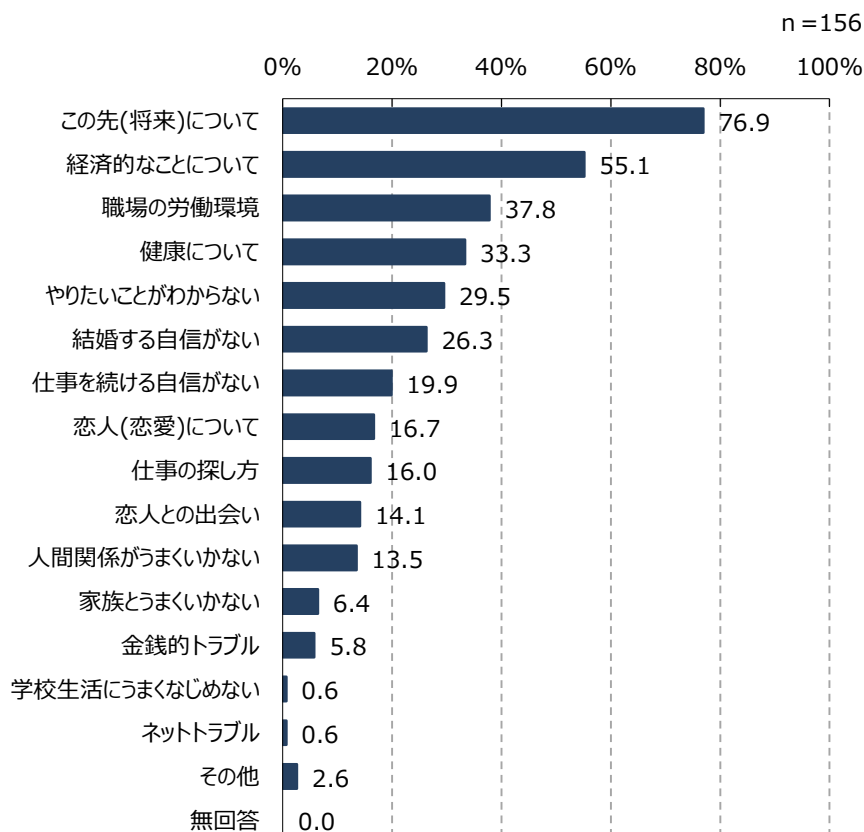
「はい」が75.7%、「いいえ」が24.3%となっています。



問 12 で「1. はい」とお答えの方に伺います。

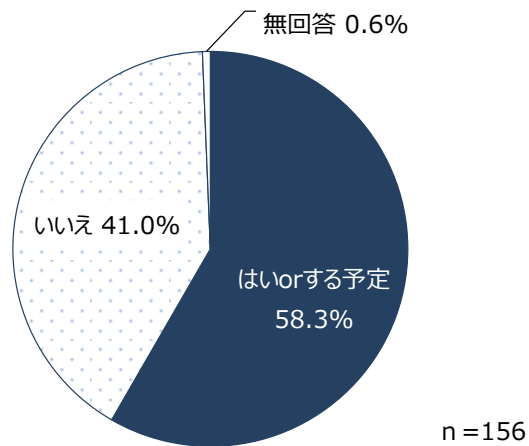
問 13. あなたの悩みごとは何ですか。 (複数回答)

「この先(将来)について」が76.9%と最も多く、次いで「経済的なことについて」が55.1%、「職場の労働環境」が37.8%、「健康について」が33.3%、「やりたいことがわからない」が29.5%となっています。



問 14. 悩みを誰かに相談しましたか。

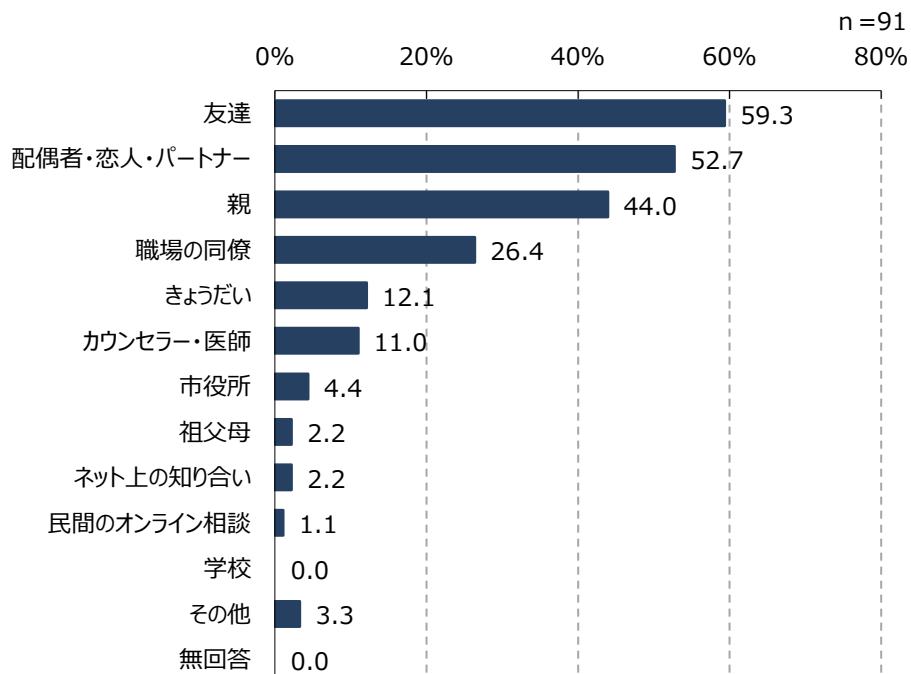
「はい or する予定」が 58.3%、「いいえ」が 41.0%となっています。



問 14 で「1. はいorする予定」とお答えの方に伺います。

問 15. 悩みを誰に相談しましたか。また相談する予定ですか。 (複数回答)

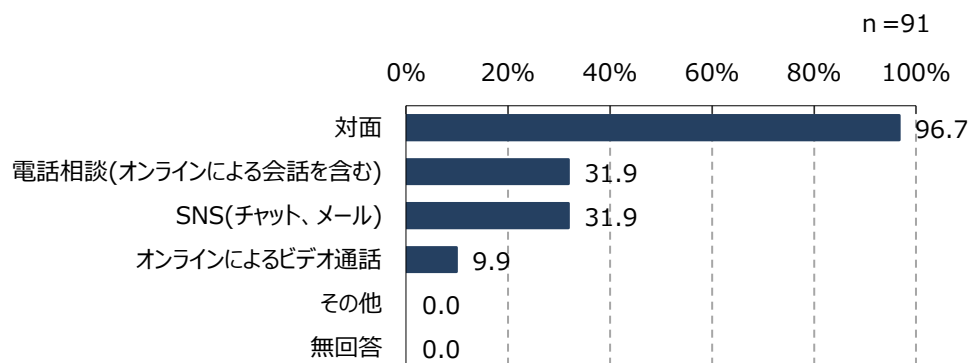
「友達」が 59.3%と最も多く、次いで「配偶者・恋人・パートナー」が 52.7%、「親」が 44.0%、「職場の同僚」が 26.4%、「きょうだい」が 12.1%となっています。





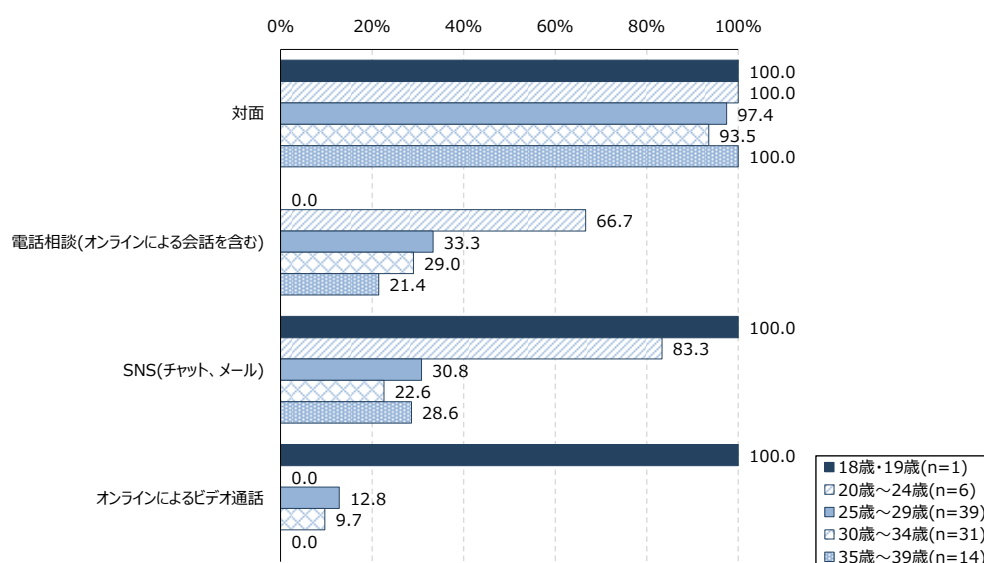
問 16. どのような方法で相談しましたか。また相談する予定ですか。 (複数回答)

「対面」が 96.7%と最も多く、次いで「電話相談(オンラインによる会話を含む)」が 31.9%、「SNS(チャット、メール)」が31.9%、「オンラインによるビデオ通話」が9.9%、「その他」が 0.0%となっています。



【年齢別：相談方法】

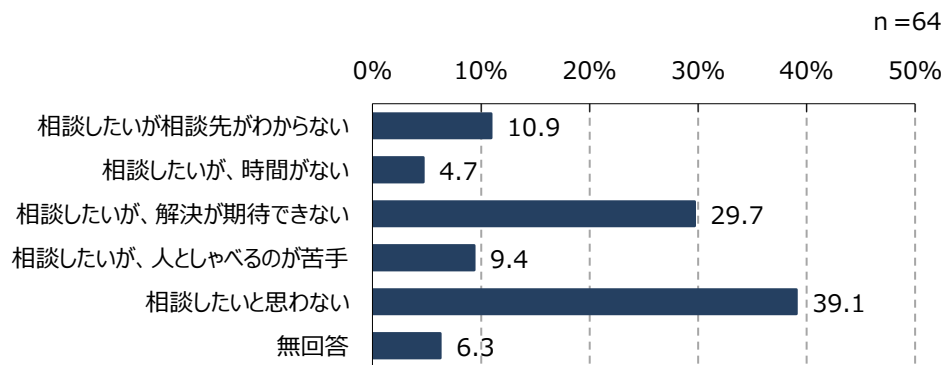
相談方法を年齢別にみると、いずれの年齢層も「対面」の割合が高く 9 割を超えています。それ以外の相談方法は年齢が高くなるにつれ、割合が低くなる傾向がみられます。



問 14 で「2. いいえ」とお答えの方に伺います。

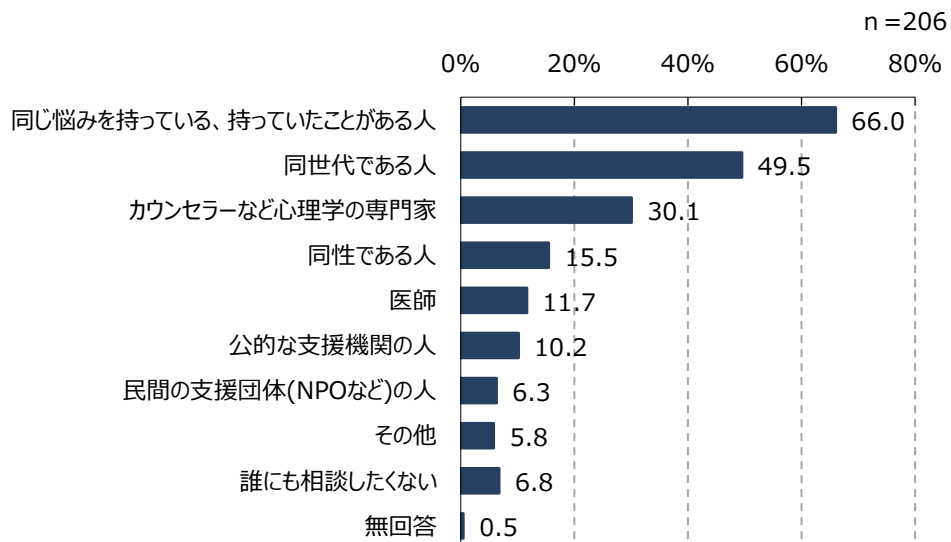
問 17. 誰かに相談したいと思いますか。

「相談したいと思わない」が 39.1%と最も多く、次いで「相談したいが、解決が期待できない」が 29.7%、「相談したいが相談先がわからない」が 10.9%、「相談したいが、人としゃべるのが苦手」が 9.4%、「相談したいが、時間がない」が 4.7%となっています。



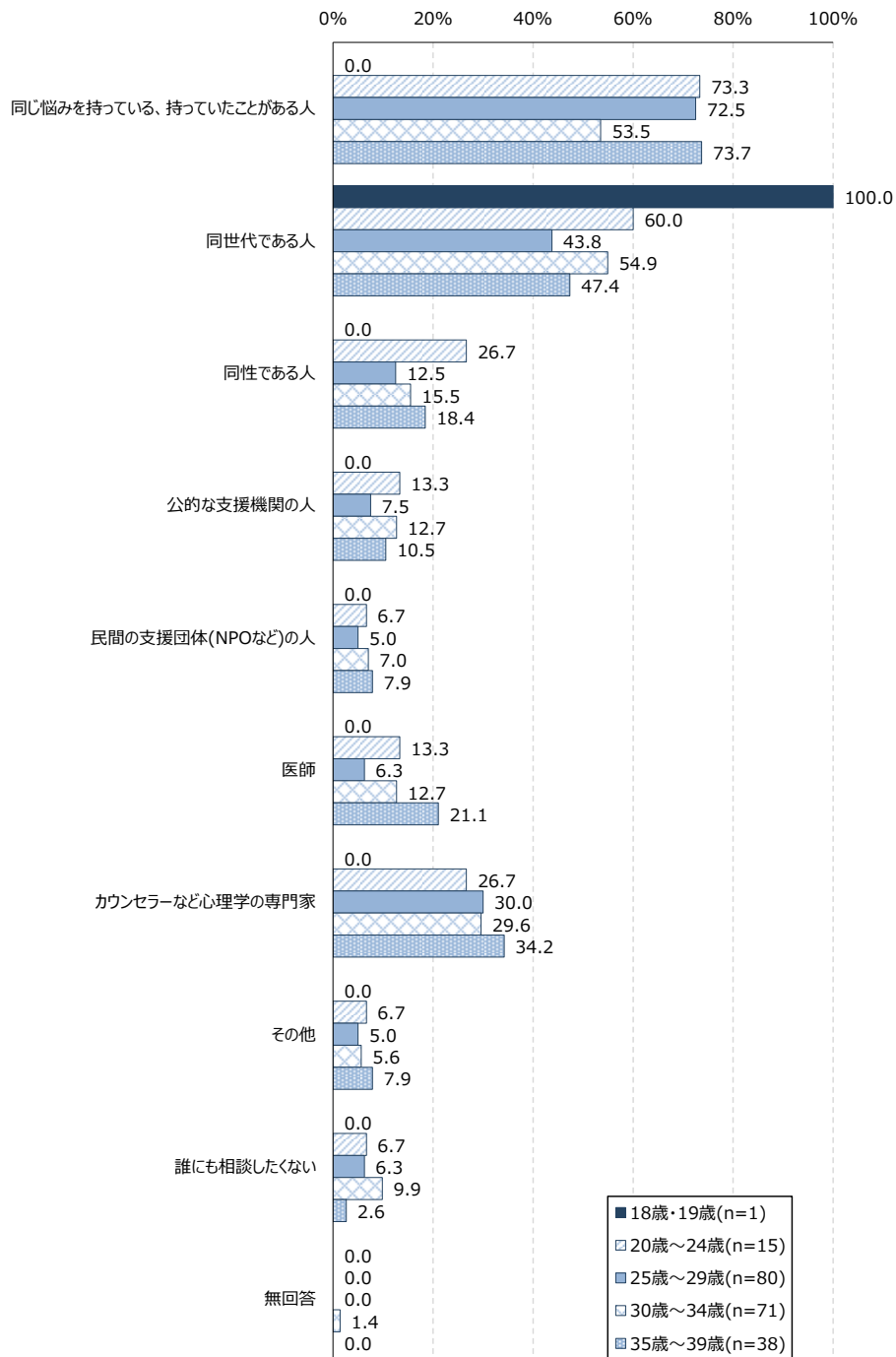
問 18. あなたが、ものごとがうまくいかず落ち込んだときに、家族以外でこういった人なら、相談したり、助けてもらったりしやすいと感じますか。 (複数回答)

「同じ悩みを持っている、持っていたことがある人」が 66.0%と最も多く、次いで「同世代である人」が 49.5%、「カウンセラーなど心理学の専門家」が 30.1%、「同性である人」が 15.5%、「医師」が 11.7%となっています。



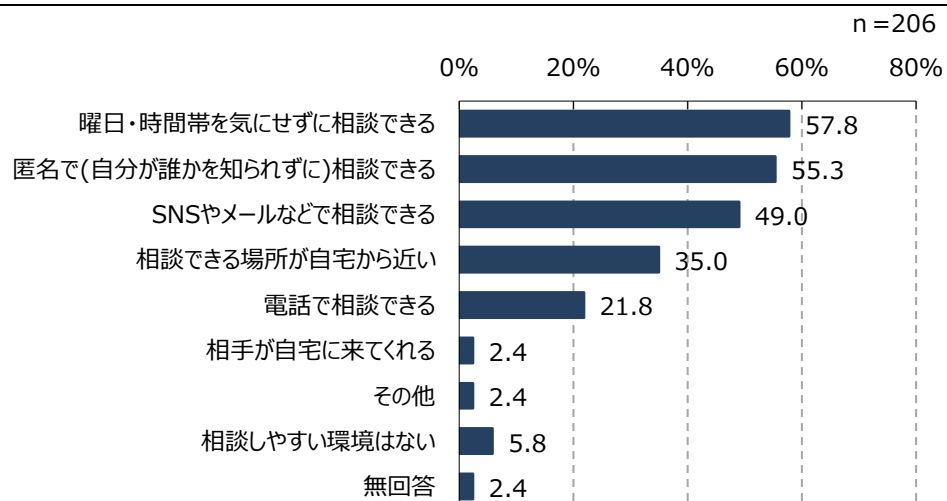
## 【年齢別：相談しやすいと思う人】

相談しやすいと思う人を年齢別にみると、いずれの年齢層も「同じ悩みを持っている、持っていたことがある人」、「同世代である人」の割合が高くなっています。



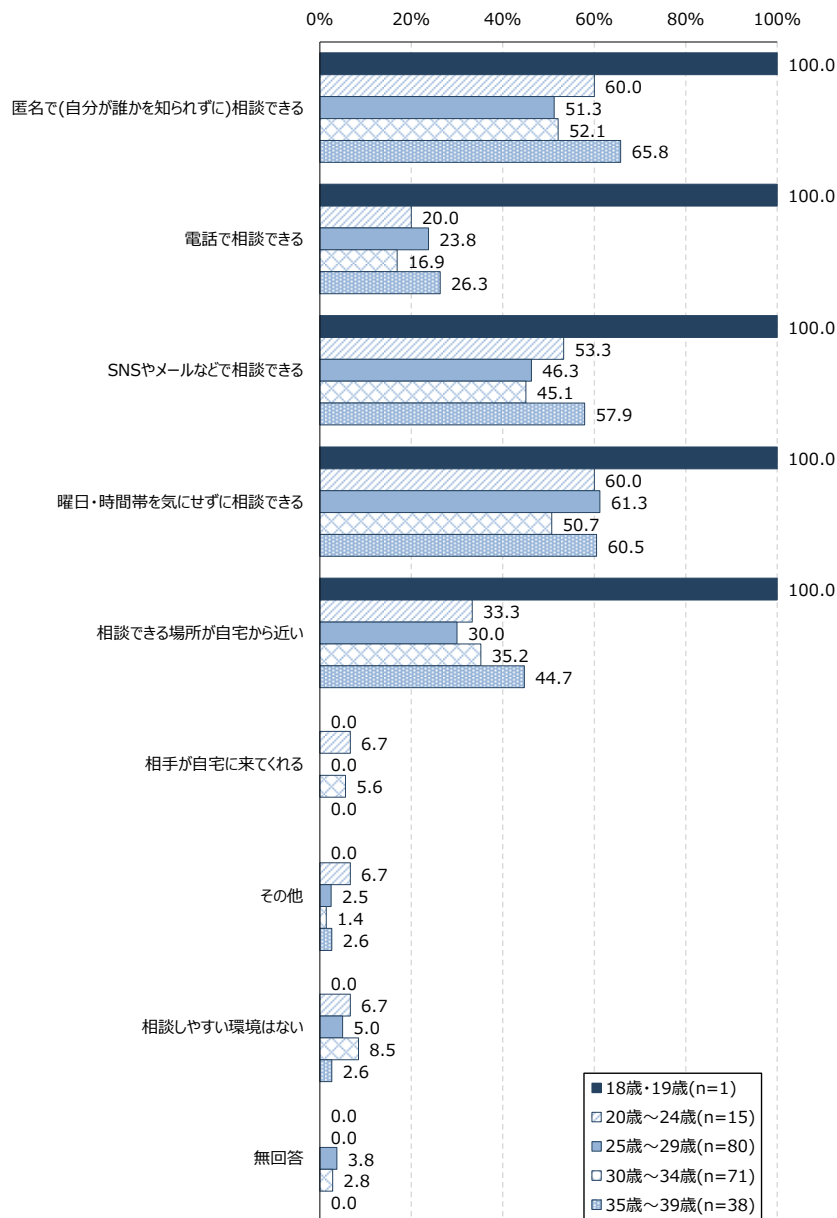
問 19. あなたが相談をしようと思ったとき、どのような相談環境であれば相談しやすいと思いますか。  
(複数回答)

「曜日・時間帯を気にせずに相談できる」が 57.8%と最も多く、次いで「匿名で(自分が誰かを知られずに)相談できる」が 55.3%、「SNS やメールなどで相談できる」が 49.0%、「相談できる場所が自宅から近い」が 35.0%、「電話で相談できる」が 21.8%となっています。



## 【年齢別：相談しやすいと思う相談環境】

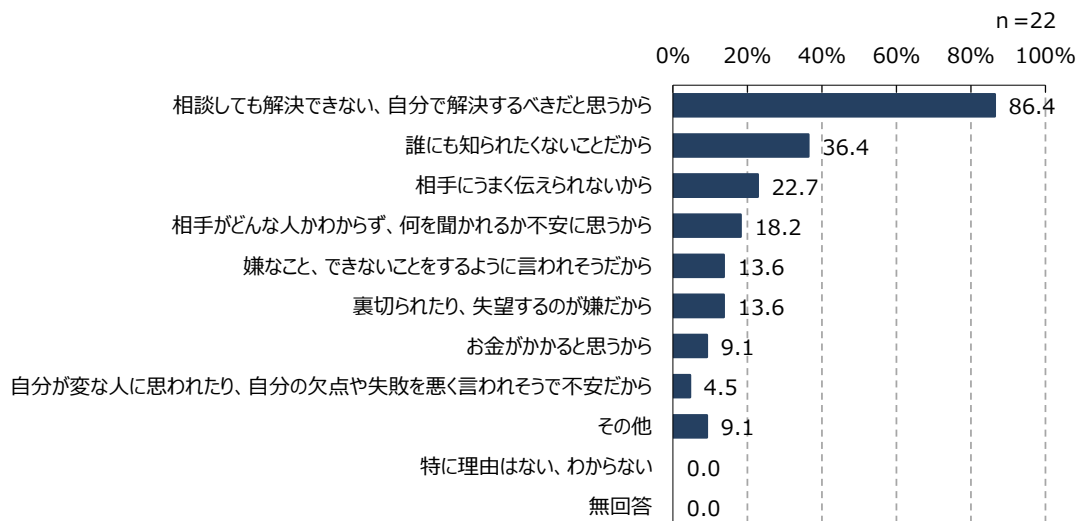
相談しやすいと思う相談環境を年齢別にみると、「匿名で(自分が誰かを知られずに)相談できる」、「曜日・時間帯を気にせずに相談できる」「SNSやメールなどで相談できる」の割合が高くなっています。



問 18 で「9. 誰にも相談したくない」とお答えの方に伺います。

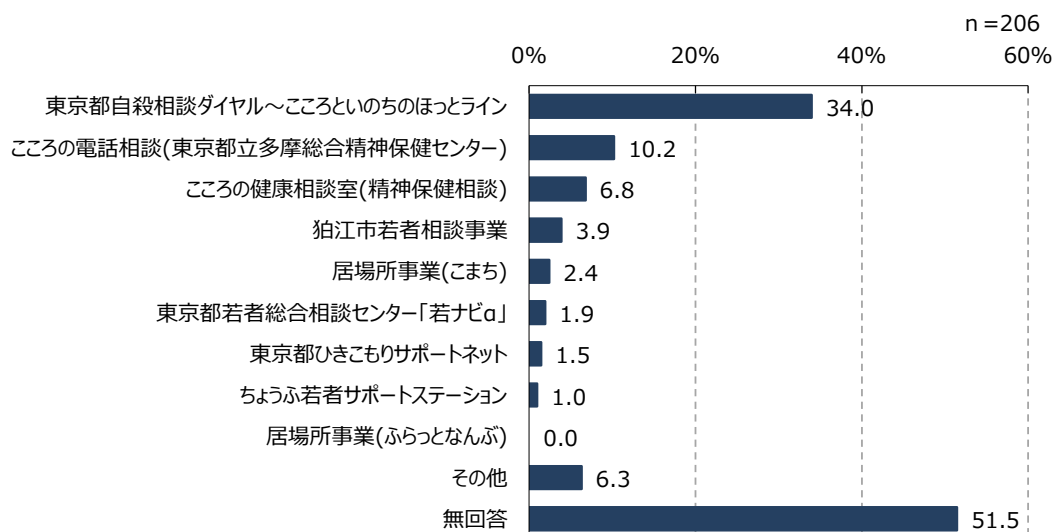
問 20. 相談したくないと思う理由は何ですか。 (複数回答)

「相談しても解決できない、自分で解決するべきだと思うから」が 86.4%と最も多く、次いで「誰にも知られたくないことだから」が 36.4%、「相手にうまく伝えられないから」が 22.7%、「相手がどんな人かわからず、何を聞かれるか不安に思うから」が 18.2%、「嫌なこと、できないことをするように言われそうだから」が 13.6%となっています。



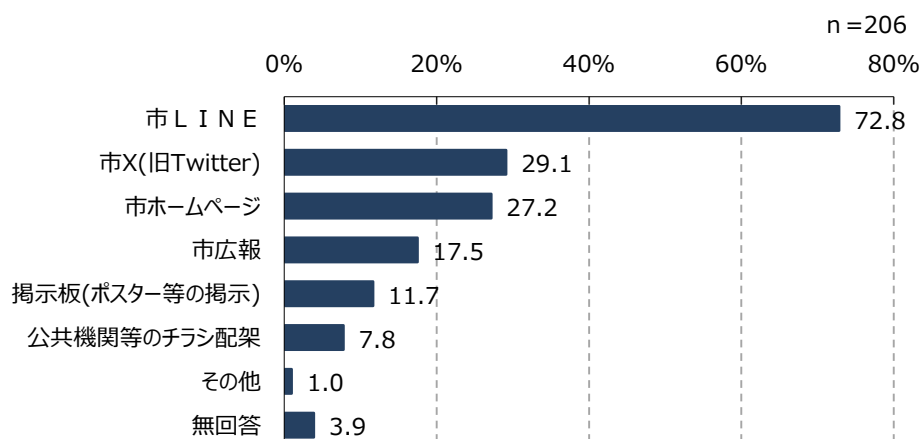
問 21. 狛江市や近隣にある若者向けの次の相談事業や機関の中に、知っているものはありますか。 (複数回答)

「東京都自殺相談ダイヤル～こころといのちのほっとライン」が 34.0%と最も多く、次いで「こころの電話相談(東京都立多摩総合精神保健センター)」が 10.2%、「こころの健康相談室(精神保健相談)」が 6.8%、「その他」が 6.3%、「狛江市若者相談事業」が 3.9%となっています。



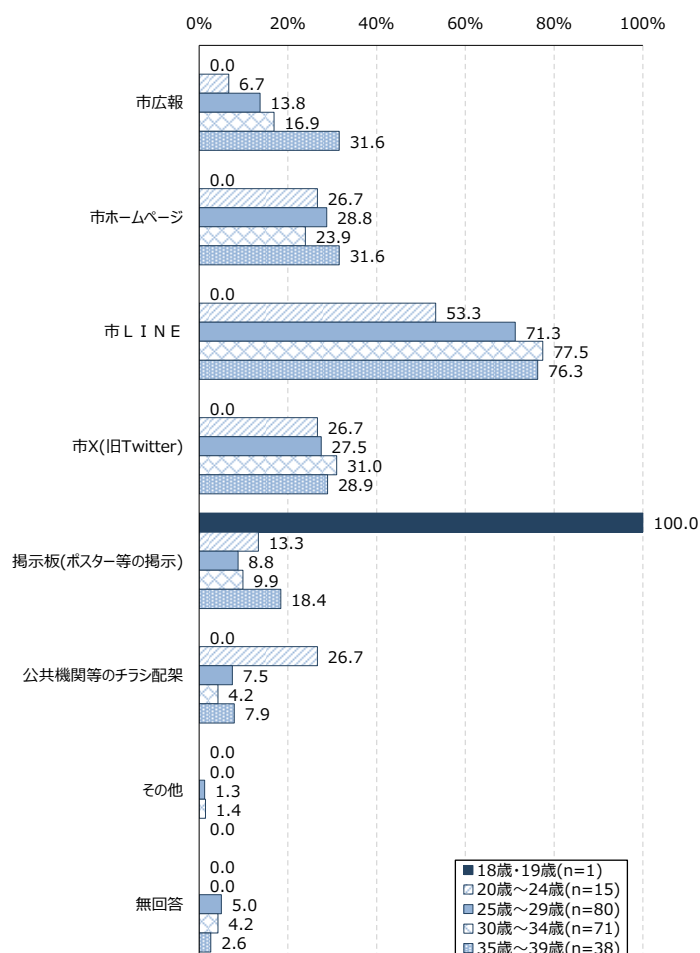
問 23. 狛江市からの市事業の情報ツールはどれから情報を得たいと思いますか。また、どれが得やすいと考えますか。（複数回答）

「市LINE」が72.8%と最も多く、次いで「市X(旧Twitter)」が29.1%、「市ホームページ」が27.2%、「市広報」が17.5%、「掲示板(ポスター等の掲示)」が11.7%となっています。



### 【年齢別：情報入手ツール】

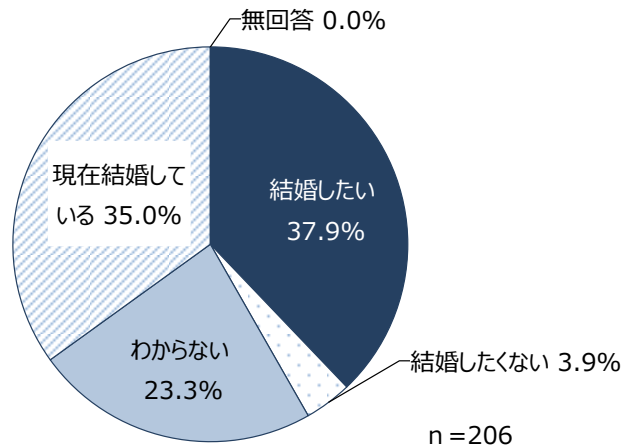
情報を入力したい情報ツールを年齢別にみると、いずれの年齢層も「市LINE」の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれ「市広報」の割合が高くなっています。



## あなたの結婚観について教えてください

問 24. 結婚についてどのように考えていますか。

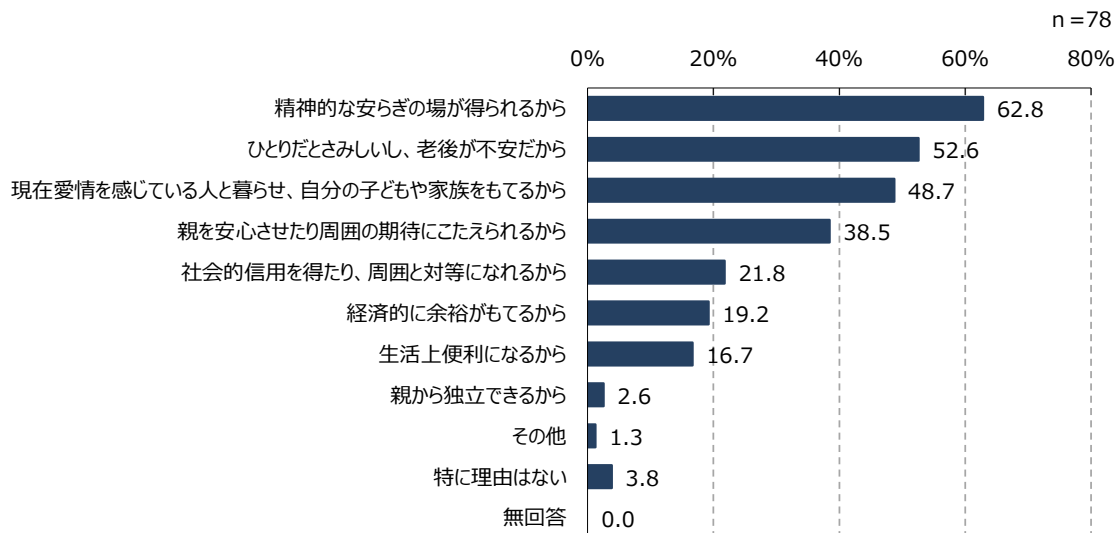
「結婚したい」が37.9%と最も多く、次いで「現在結婚している」が35.0%、「わからない」が23.3%、「結婚したくない」が3.9%となっています。



問 24 で「1.結婚したい」とお答えの方に伺います。

問 25. 結婚したいと思う理由は何ですか。 (複数回答)

「精神的な安らぎの場が得られるから」が62.8%と最も多く、次いで「ひとりだとさみしいし、老後が不安だから」が52.6%、「現在愛情を感じている人と暮らせ、自分の子どもや家族をもてるから」が48.7%、「親を安心させたり周囲の期待にこたえられるから」が38.5%、「社会的信用を得たり、周囲と対等になれるから」が21.8%となっています。

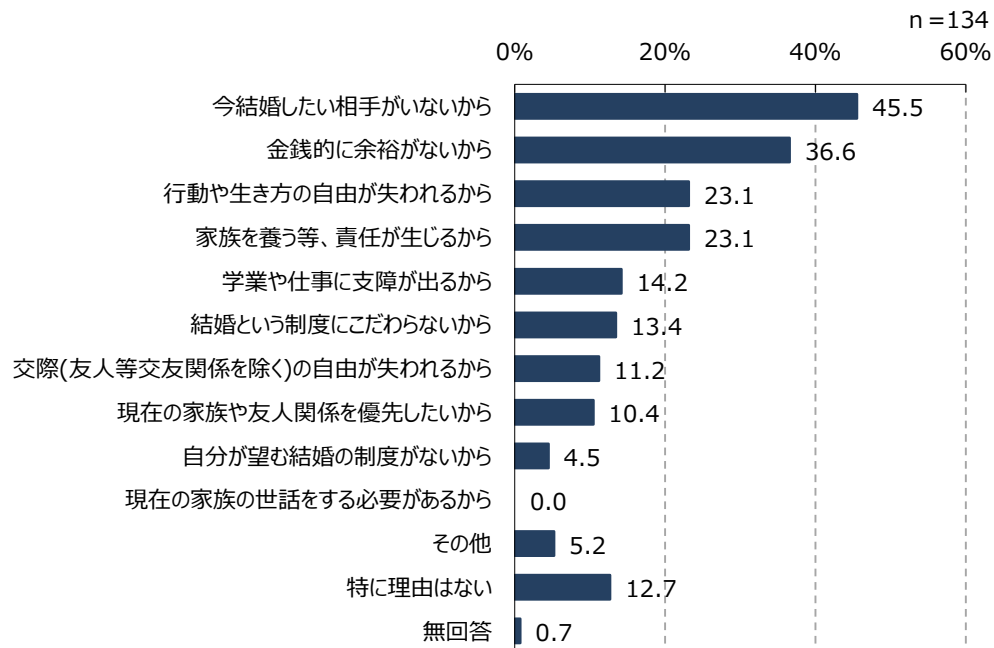




問 24 で「1.結婚したい」「2.結婚したくない」「3.わからない」とお答えの方に伺います。

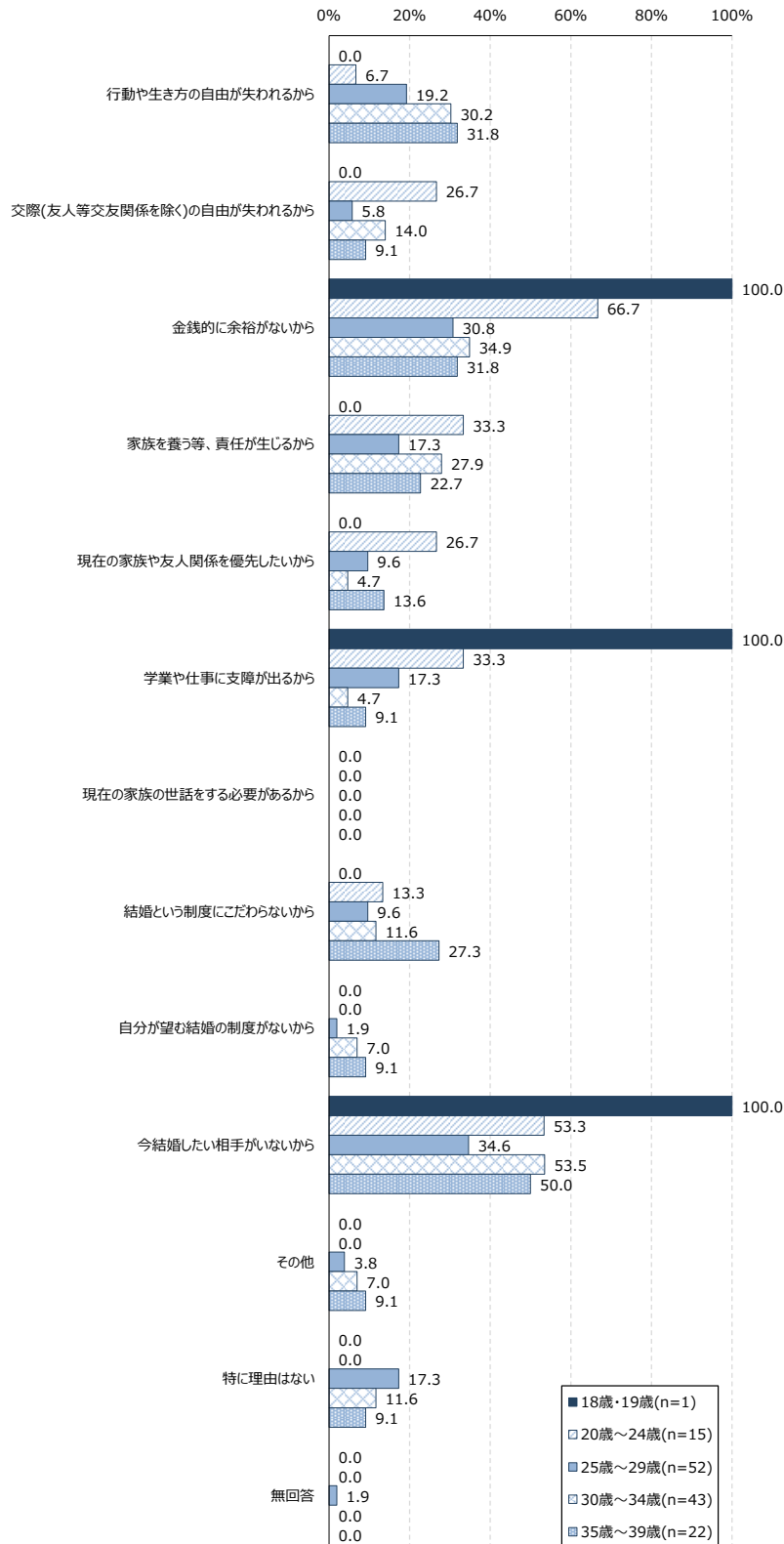
問 26. 現在結婚していない理由は何ですか。 (複数回答)

「今結婚したい相手がないから」が 45.5%と最も多く、次いで「金銭的に余裕がないから」が 36.6%、「行動や生き方の自由が失われるから」及び「家族を養う等、責任が生じるから」が 23.1%、「学業や仕事に支障が出るから」が 14.2%となっています。



## 【年齢別：結婚していない理由】

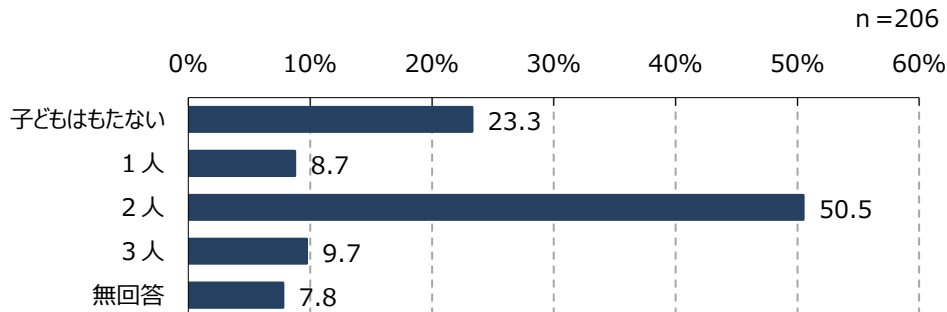
結婚していない理由を年齢別にみると、いずれの年齢層も「今結婚したい相手がないから」「金銭的に余裕がないから」の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれ「行動や生き方の自由が失われるから」の割合が高くなっています。



あなたの「子どもをもつこと」についての考えを教えてください

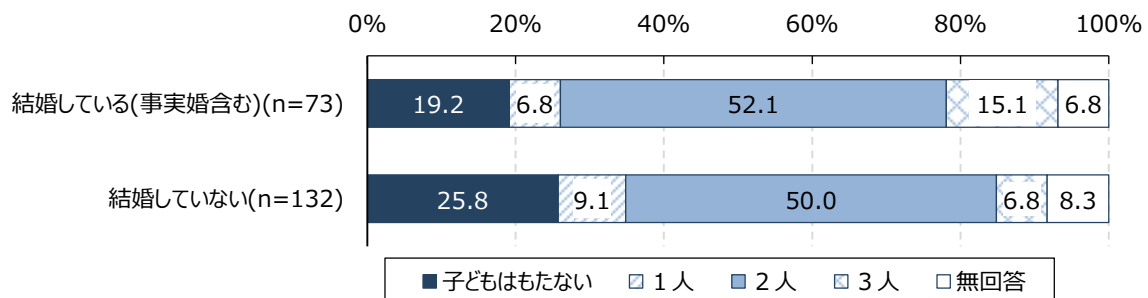
問 27. 将来的に子どもは何人いることが理想ですか。理想の子どもの数をお答えください。

「2人」が50.5%と最も多く、次いで「子どもはもたない」が23.3%、「3人」が9.7%、「1人」が8.7%となっています。



【婚姻の有無別：理想の子どもの数】

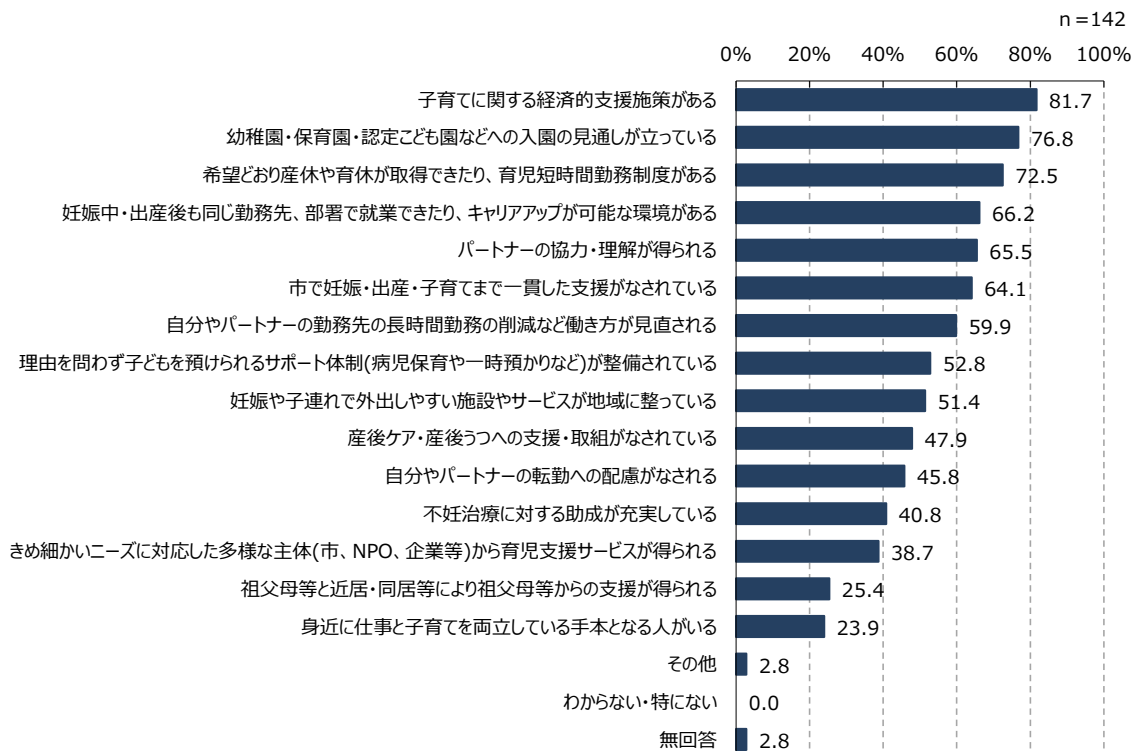
理想の子どもの数を婚姻の有無別にみると、「子どもはもたない」の割合は結婚している（事実婚含む）より結婚していないで6.6ポイント高く、「3人」の割合は結婚していないより結婚している（事実婚含む）で8.3ポイント高くなっています。



問 27 で「理想の子どもの人数」をお答えの方に伺います。

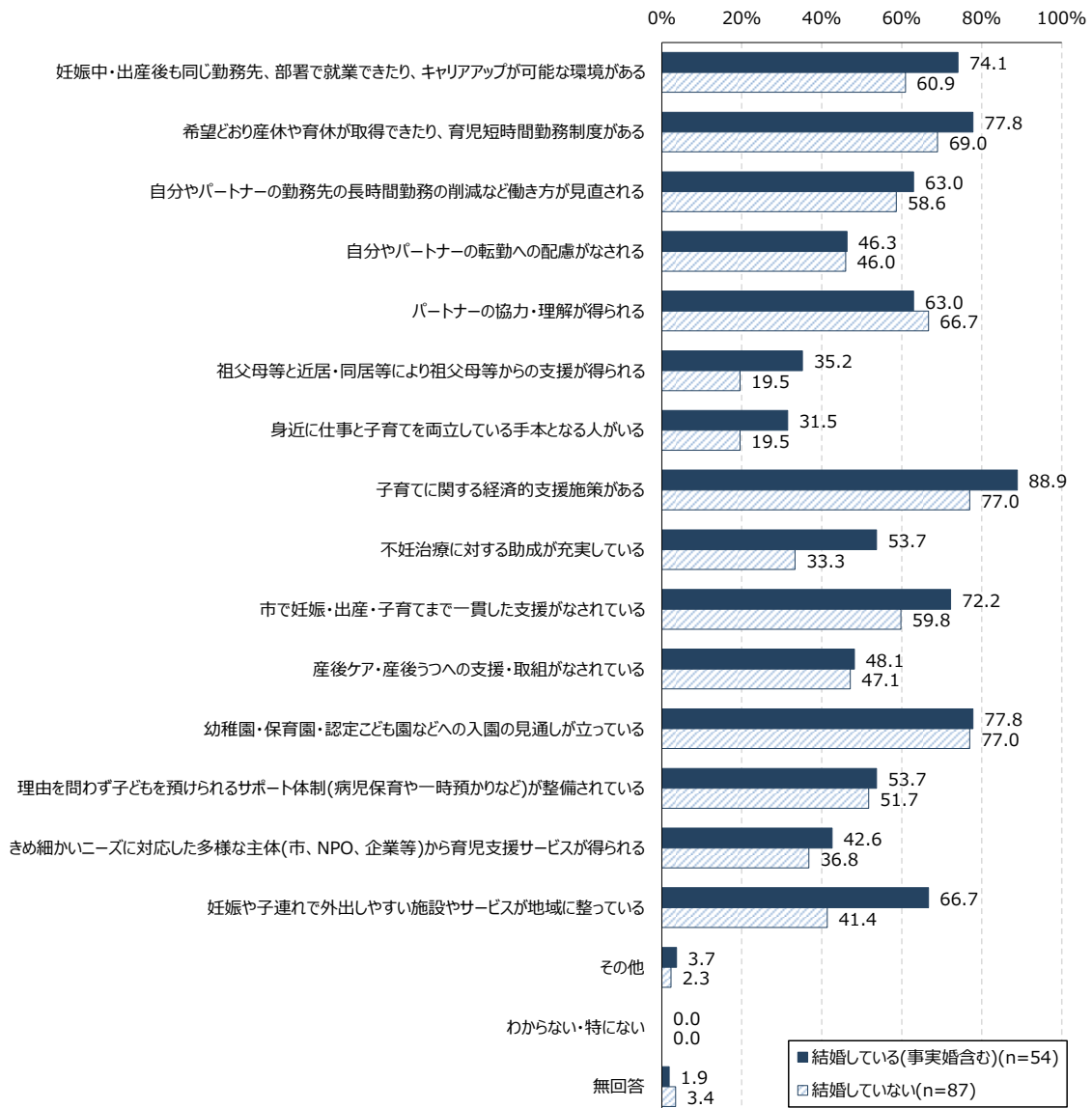
問 28. 理想の数の子どもをもてるようになるには、どのようなことがあればいいと思いますか。 (複数回答)

「子育てに関する経済的支援施策がある」が 81.7%と最も多く、次いで「幼稚園・保育園・認定こども園などへの入園の見通しが立っている」が 76.8%、「希望どおり産休や育休が取得できたり、育児短時間勤務制度がある」が 72.5%、「妊娠中・出産後も同じ勤務先、部署で就業できたり、キャリアアップが可能な環境がある」が 66.2%、「パートナーの協力・理解が得られる」が 65.5%となっています。



## 【婚姻の有無別：理想の子どもをもてるようになるためにあればいいこと】

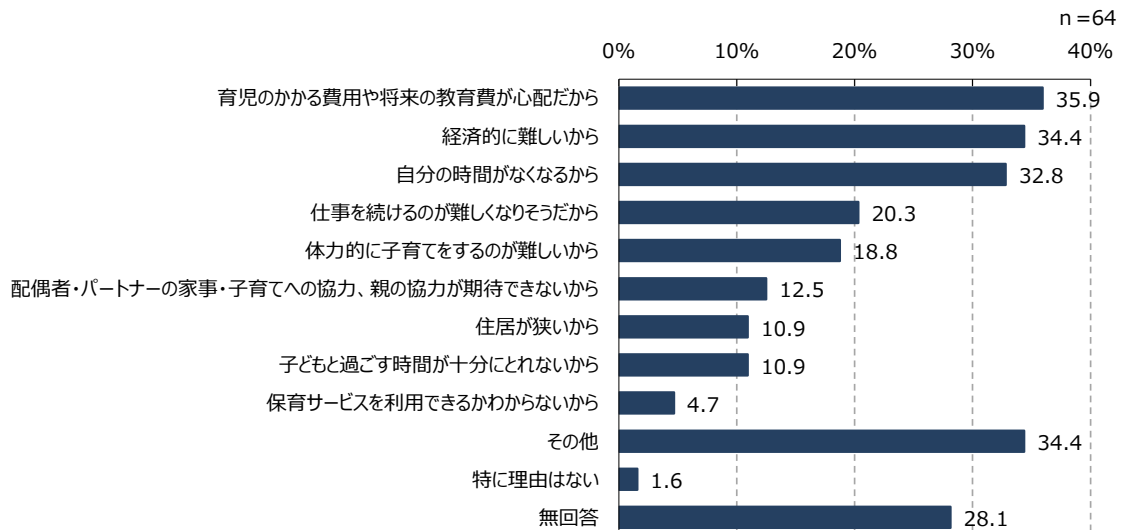
理想の子どもをもてるようになるためにあればいいことを婚姻の有無別にみると、結婚していないより結婚している（事実婚含む）で「妊娠や子連れで外出しやすい施設やサービスが地域に整っている」が 25.3 ポイント、「不妊治療に対する助成が充実している」が 20.4 ポイント、「祖父母等と同居・同居等により祖父母等からの支援が得られる」が 15.6 ポイント高くなっています。



問 27 で「子どもはもたない」とお答えの方に伺います。

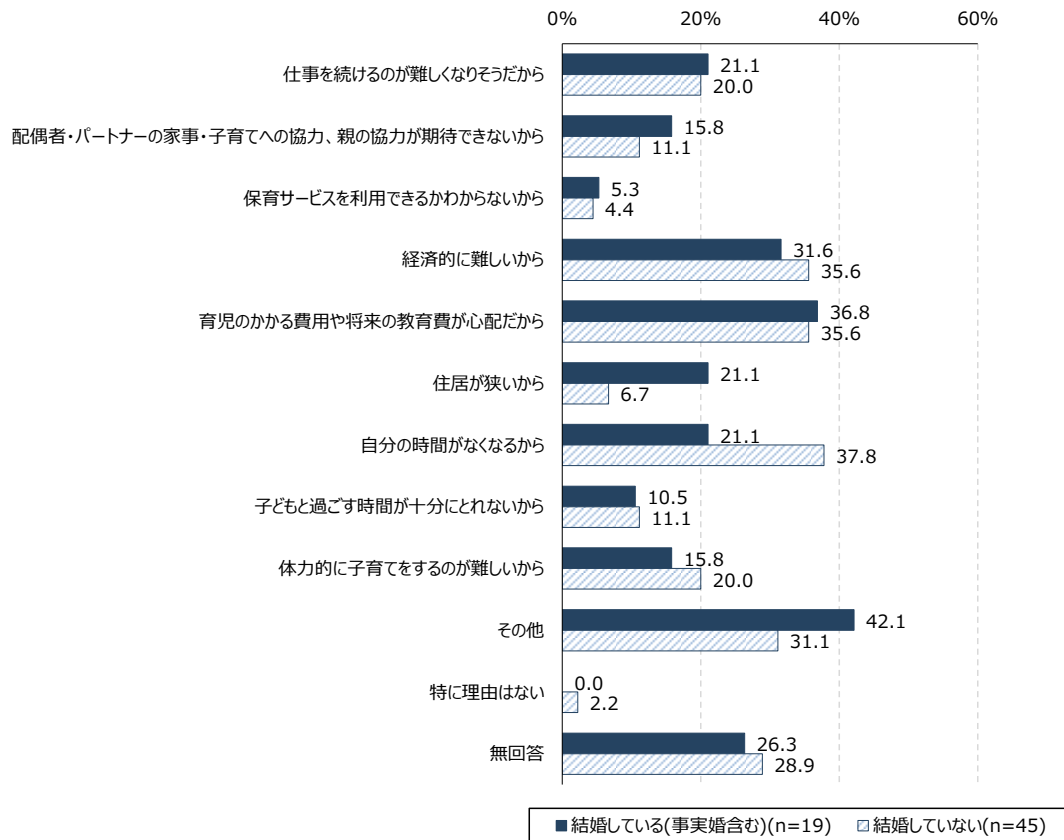
問 29. 子どもをもたない理由は何ですか。 (複数回答)

「育児にかかる費用や将来の教育費が心配だから」が 35.9%と最も多く、次いで「経済的に難しいから」が 34.4%、「その他」が 34.4%、「自分の時間がなくなるから」が 32.8%、「仕事を続けるのが難しくなりそうだから」が 20.3%となっています。



### 【婚姻の有無別：子どもをもたない理由】

子どもをもたない理由を婚姻の有無別にみると、「自分の時間がなくなるから」が結婚している（事実婚含む）より結婚していないで16.7ポイント高く、「住居が狭いから」の割合は結婚していないより結婚している（事実婚含む）で14.4ポイント高くなっています。



# 狛江市若者生活実態調査

## 自由記入設問 記述（全文）

自由意見は記入された方の意図がそのまま伝わるよう、可能な限り原文を尊重して掲載していますが、明らかな誤字・脱字と思われる字句は修正しています。

また、本アンケートの趣旨と異なるものや、個人(団体)が特定できる記述、誹謗・中傷等は削除しています。



問 22 狛江市内に相談ができたり、居場所となるようなものとして、どのような場所やサービスがあるかというと思いますか。

- 「相談事業所」等の大きな看板があると、なんとなく入りにくい。カフェのようなオシャレで清潔感のある場所だと思いたいと思う。そこに、気楽に何でも相談出来る専門家の方がいてくれたら通いたくなります。
- 1人でゆっくり滞在していても問題ない場所
- オンライン、顔出しなしで参加できるスペースがあれば、人見知りにも参加しやすくなるのではないかなと思います。テキストベースだとなお良いかと思います。
- お金や時間にしばられない空間
- カフェ・飲み屋・趣味の交流
- カフェのような気軽に入れる場所で、尚且つプライバシーが保たれる半個室のようなスペースがあるところ。相談相手はカウンセラーなど専門家だとありがたい。
- カフェみたいな感じで落ちつける、交流が広がりそうなところ
- カフェ感覚で話せて、必要に応じて個室で話せるような場所
- カフェ形態のスペース
- カフェ的な感じで相談や交流ができる場所
- くつろげるスペースがあったり、運動（趣味）するコミュニティ。なにか手作りしたり。話すだけが目的になると、気構えてしまっていくのが怖くなってしまふことがあるので、何か一緒にやりながらコミュニティが出来たら話しやすいなと思います。
- サービスは沢山あるように見受けられているので、周知に力を注ぐべきではないかと思いました。
- その場所に行けば誰かいて、お酒を飲んだり、気軽に話せるような場所。
- チャット形式のサービス
- ネットは SNS で相談ができたり、1対1で会話ができるような場所があると良いと思います。
- ネットやチャットで気軽に話せる。
- 勉強会、説明会等（病気への向き合い方や就業について）
- ネット環境の整ったオープンカフェ
- ネット上で相談できるスペース
- ハローワークが市内にほしい。国領は少し遠く、気軽に行けない。
- ハローワークのような職業訓練ができるサービス。子育て支援、預かり保育。
- ハローワーク経由の求人募集があった際には、職員の方に色々相談にのっていただいたことがあります。また、オンラインで相談できるサービスが色々あるので、狛江市内で何か相談したいというのは、特にありません。しかしながら、学生時代は特に、相談の仕方がわからなくて、誰にも相談できなかったように思います。自意識過剰にもなっていました。社会に出て、色々な方と話さなければならない状況になったことで、様々な本を読むようになり、人と比べず自分を大事にすることが心の安定に繋がることを学びました。また、自己肯定感が高まるにつれ、「他人になんと思われても大丈夫」と、以前よりも気軽に人に相談できるようになった気がします。

- プライバシー保護がきちんとできるパーティション等完備、防音完備、観葉植物
- ボランティアでも河川敷周辺のゴミ拾いやラジオ体操などコミュニティがあったらまた相談しやすい環境になると思う。色々な世代が集まって自分の役割も分かりそうな気がする。
- リーズナブルなスポーツクラブやジム
- 育児パパが集まる場所。
- 駅前広場でのイベントや駅前での小さなイベントなどがあると人が集まり、居場所となる。K ベースなど頑張っている居場所となりうる個人店を応援してほしい。公の場所はとくに求めているないので、民間の自主的な活動を後方から支援できるようにしてほしい。
- 価格が安めのカフェ（～1000 円程度）
- きれいな公園（広くて、ひらけている）
- 課題解決のための相談場所ではなく、悩みなどを聞いてくれる場所。（どうしたら抱えている嫌なことや問題を解決できるのか?を話すわけではなく、ただ話を聞いてもらえる”だけ”の場所があると相談しやすくなるのではないかと思う。）
- 活気のある場所
- 気軽に入れるカフェのような場所。
- 嫌な事があった時に、吐き出せる、自分と特定されない場所。
- 個室で自分の空間が侵されることのない場所
- 狛江駅近く。
- 市の補助制度・支援制度の活用方法
- カフェのようにゆったりできるところ
- 子どもを考えた時の経済的サポートや妊娠してからのサポートについての知識がないためそれを取得できる場所
- 市営ジム
- 市役所付近に総合病院ができたらいいなと思う。慈恵会第三病院に行くには遠い気がする。
- 狛江市は比較的若者もいると思うので、他の若者がどうやって対処してるのかなども知りたい。
- 時間がないので予約が取りやすいところ。時間的にも予約の方法も思いついたらすぐ相談できる。市 LINE はとても使いやすいので用途広げてほしい。
- 若者よりも就職氷河期世代に対する支援をしてほしい。
- 若者向けサークル
- 若者向け学習室
- 趣味ごとに大まかにカテゴライズした枠組の交流会など。
- 趣味活動のサークルや同世代の人との交流場面
- 週に一度キッチンカーが来てくれる場所。
- 住宅に関してや、お金のことを顔や個人情報をあまり特定されない状況で、相談できる場所がほしいです。フリーランスなので、将来への不安や自分がまだ知らないことを知れる場があったら。

- 住民同士が交流しやすいような文化施設 例えば運動施設等。
- 女性、男性かかわらず、時間も気にせずにくつろげるような場所で、MSW や福祉、医療に詳しい人を設置し、いつでも相談できる。
- 障害者向けのメンタルケアや生活相談
- 場所やサービスがあったとして、結果が出るかどうかは結局はそこに配属される人物によると思う。公的な機関に相談しても、窓口の人が『若年女性に対して夜の仕事を勧める』『どんなものがあるか熟知しておらず支援に繋がらなかった』『問題を過小評価して話を聞いてくれなかった』と言う事例はよく聞くし、私自身も体験しました。(私の場合は失業時に家賃を支援してもらえる対象であったにも関わらず、窓口の男性から案内がなかった為に支援を受けられなかった。その対象であった事はその後別の窓口の女性から指摘されて気付きました)。知識に乏しい若年層の支援については殊更、窓口配属される人物は相談者に寄り添える人であり、尚且つその人物が全ての支援項目を網羅していなくても相談者が対象者として該当する支援を絞り込めるようなシステムがないと難しいなと思います。私に案内出来なかった男性職員も、知らなかっただけで故意に案内しなかったわけではないでしょうから。
- 場所やサービスがあるのもいいですが、本当に悩んでいる人はそこにアクセスするまでがすごく大変です。居場所は作られても、ある一定の人で固定されていくので、入りにくくなります。
- 職員がまともな人
- 入りやすい雰囲気のある場所
- 図書館(テーブルのスペース)を広くしてほしい。増やしてほしい。テーブルやイス、カウンターなどがある(造花でもいいから)緑溢れる空間がほしい。ここには、家族連れというより、一人暮らしの若者や高齢者が行きやすいように。若者は孤独感の解消、高齢者は孤独死の削減に繋がればと思います。
- 図書館に若い人がいきやすくなるようにしてほしい。
- 精神科医の診察を気軽に受けられる場所があるとうれしい
- 相談ができる場所があることを知らないため、もっとわかりやすくしてもらえるといいと思います
- 対面以外の SNS やメール、200m 等で相談出来る環境。
- 地域の人が無料で使えるカフェ、スペース
- 地域イベント
- 畑のシェア
- 遅くまでやっているカフェ
- 電話で悩み事を相談できるサービス(匿名で)
- 同世代の集まり
- 匿名かつ、メールや SNS で相談ができると利用しやすいと思う。相談員は、相談者の希望に沿った年齢と性別の方が担当するべきだと感じる。
- 匿名でのやり取り。電話かメールでのやり取りがいい。
- 悩みではなく、同世代や同じ状況(妊婦)が集まる場所 ・小さい子供がフルグループできるような集まり
- 平日の夜や土日祝で利用できるようなサービスがあると嬉しいです。

- 特に今の 10 代から 20 代の方は電話や対面での会話よりもメール、更に言うとチャットでのコミュニケーションを好む傾向があると思います。私自身はこのような相談をしようと思った事はありませんが、若者を対象にするのであればこのような電話以外の選択肢を持てるような環境整備が必要と思われます。(既に準備されているようであれば認識不足ですみません)特に狛江市は子育て世代も増えていて、市外からの居住者も多い状況と思います。相談者本人への働きかけだけでなく、学校や親にも簡単に相談出来る環境がある事を間接的に周知してもらう必要があるでしょう。いつでも相談が出来る事を PR する事も大事ですし、それ以上にどんなアドバイスをしてくれるか、解決に向けて一緒に伴走してあげられるかと言った相談をした後のイメージをセットで訴求出来ると良いと思います。
- 弁護士による無料相談

問 30 あなたは、あなたを含めたこれからの若者(18歳から39歳ぐらいまでの人)のために、市に期待する取組(若者の居場所支援や結婚支援等を含む)があればご記入ください。

## 経済的なことについて

- インフルエンザの助成が、若者にも適用すれば良いのと思います。税金に関しては増えても減ってもあまり変わらないので、家賃補助等あれば助かるのではと思います。
- このようなアンケートはいい試みだと思います。なにをするにも金銭的な支援や援助のシステムが整っていれば、安心できると思います。
- この前の学生向けの5万円の支援金は大変ありがたかった。またこのような支援があるととても嬉しい。
- ゴミ袋を無料にする。
- 保育園料を安くする
- 所得制限撤廃
- とにかく税金の負担を減らして欲しい。
- 一人暮らしの大学生への給付金と児童手当への給付金の取り組み
- 何に対しても金銭的に余裕がないと難しいことが多いから、仕事見つけている人の中にも何かの資格を持ちたい人もいると思うから、補助するサービスとか、結婚に必要な物(家借りるとか)をそろえるための援助とか。
- 金銭的な支援
- 経済支援、同年代の子どもをもつ親が集まれるイベント
- 経済的な支援や人間関係を構築できる取組が活発化していることを希望。
- 経済的な余裕があれば、民間のサービスを利用する事ができるので、市の財源は民間で代替できる取組よりも、民間で勝手に行う事ができないインフラ整備や、街の再開発に使ってほしいです。
- 経済的に困窮する若者への支援。高齢の方を助けることで賃金が得られるとか、格安で入居できる住宅とかあったらな。
- 経済的支援、補助金
- 経済的支援があれば嬉しいです。給与は上がらないが物価が上がっていき、自分のことだけで精一杯です。
- 結局はお金だなと思うので、教育や育児に関する助成金があると嬉しいです。
- 国保税、住民税の減免制度(対象条件など)見直し ・観光名所(施設)の政策や広報
- 子どもが欲しくても経済的に2人は難しそう。持病があり、妊娠中は働けないため出産後も経済的に厳しく経済的な援助、サポートがあれば子どもを考えられるのになと思います。実際、出産して働きたくても職業柄保育園から迎えに呼ばれると現場への負担が大きくなるため、復職も子どもが幼児期になるまでキツそう。物価が値上がりしているのに給与が上がらない、増税のため手取りも少ないとなると経済的に安定できないため産みたくても産めない。妊娠してからもどういう援助が受けられるかも情

報が市から入ってこない。もう少し、出産可能年齢の世代にラインなどのツールで情報が入ってくると嬉しいです。

- 減税して、可処分所得を増やしてほしい。そうすれば、人口も増えて結果として税収も増える。すると、若者にとって活気のある町になると思う。
- 子育てのしやすい経済の支援。年金問題
- 子育て世代はもちろん、結婚、新生活に対して所得の上限の幅を広げて支援してもらえると将来の不安が減る。相談窓口や気軽に話せる場所が欲しい
- 子供を育てやすい環境作りに期待している。子供は欲しいが、正直金銭面にとっても不安である。複数はきびいいのではないかと不安なので。サポート面で期待をしたい。
- 市税の緩和
- 支援に関する所得制限の撤廃・待機児童の改善・商業施設の充実
- 私自身は子をもうける予定はありませんが、子供が欲しいのに経済的に難しい人や、保育園などの理由で2人目3人目が難しい人の状況が改善されて欲しいと思います。
- 手当の充実
- 住み続けた年数に応じて住民税を割引く等の措置があれば若い人も来やすいかと思えます。
- 住民税を安くしてほしいです。・インボイス制度を中止してほしいです。
- 生活費の削減(ゴミ袋の値下げなど)、教育費無償化、子育て支援の充実化
- 税金で家計が圧迫されて生活が苦しいです。なにかサポート体制があれば助かります
- 税金を少なくする。
- 税制優遇。補助金
- 補助金の充実。

## 子育て支援

---

- 安心して子育てのできる環境整備・子供の預かり所・子供が遊べる場所・本屋が少ない
- 育児金・出産後のサポート。待機児童ゼロ
- 育児手当の拡充、子どもが安心して遊べる環境の拡大、在宅ワークの拡充、男性の育児支援制度の拡充
- 結婚や育児支援がより分かりやすく明確にあると嬉しいです。今は育児をしながら、仕事をするが当たり前となっているので、保育園などにもより支援があるといいと思います。
- 狛江市は狛江フェスティバルやお祭り、ビールなど独自のカラーの催しがあって住んでいて楽しい街だなと思っています。都心に近く通勤しやすいので、子育て事業が充実していたらこのままずっとこちらで過ごしていけたらと思っています。事業をよく知らないところもあるのですが、保育園に入りやすかったり、短時間でも子供を少し預けられたり、ご飯を食べさせてもらえるようなサービスや場所があったら心強いのかなと思いました。
- 子育ての経済的支援。産後ケアへの取り組み。学童保育。病児保育。体育館解放（ス

ポーツコミュニティ)。狛江市のイベントが定期的で開催される（多摩川花火大会、お寺のやつ、マルシェ）。日々ありがとうございます。社会人って大変ですね。よろしくをお願いします。

- 子育てをしている友だちが、自分の時間がないと言っていたので、一時的にでも安く子どもを預かってもらえるサービスがあると、子育ての負担が減ってよいのではと思います。スポーツ推進計画の内、体育施設の充実と活用の促進の部分ですが、現在、バドミントンサークルで市内の小中学校を利用していますが、ポールが短ったりかたむいてしまったり、ネットがボロボロだったり、備品に不備がある小中学校があるので、何らかの支援があるといいと思います。
- 子育て支援。また、どのような支援があるのか、見える化してほしい。これからの時代、共働きが増えると思うので、子供を預けられる制度を充実させてほしい。出産する人に対する支援金。
- 子育て支援の充実。
- 子育て支援を期待します。
- 子育て支援等や、介護支援はよく聞かすが、子育て世代でもなく、高齢者世代でもない若者に還元される取り組みが少ないと感じるので、若者に還元される、税金の控除や、生活支援等の取組
- 子育て世帯に一番お金を使ってあげてほしい。
- 出産や子育てに対する支援
- 妊活のための経済的支援。不妊や妊娠したあとの助成はありますが、健康だけではない人向けの支援はまだあまりない気がします、知らないだけかもしれませんが。
- 不妊支援が広がると良い。
- 不妊治療に対する助成や育児環境の整備。妊娠から出産、育児まで安心（環境、費用まで）して行うことが出来たら、嬉しい。育児が終わって、使わなくなったベビーベッドやベビーカー、お洋服など安く譲り受けたり出来たらいいな。
- 保育園がほとんど埋まっているそうなので、何とかなると嬉しいです。子ども3人以上の世帯への優遇なども欲しいです。
- 保育園が少ない。人口に対して、待機児童が多い。子供を産みづらい環境だと思う。特に若者は。
- 保育施設の充実
- 保育施設の充実、特に早朝から預けることができるとキャリアと子育てを両立できる人が増えると思う。

## 若者の居場所・若者支援

---

- 高齢者向けのサービスが支援事業が目立つ。若者向けのサービスや優遇措置制度を拡充すべき。
- 市内に若者が集まりやすい施設を設けるべきだと思う。（若者向けのショッピングモールやスポーツ施設等）
- 時間を問わず利用できる学習施設の充実(カフェ、図書館など)
- 若者のキャリア支援（転職や就業のサポート） ・畑のシェアリングサービス 子育て

て政策・習いごとの送迎サービスの増設 ・学童施設の増設 ・企業型保育園の増設 ・所得制限のない子育て政策 ・共働き世帯のための保育料補助 ・ゆるキャラを1つにしぼる

- 若者の居場所支援。夢を追う人を応援する団体（芸能を目指す若者が生活費を稼げる、勤務先。急なオーディションなどにも理解がある勤務先）
- 若者の住居手当。日用品手当
- 若者を対象にした地域交流会
- 若者支援というよりも情報発信が少ないと感じる。
- 若年夫婦への住宅手当。子どもを作りたいが、経済的不安からふみきれないので、子育て支援。子育て中の人が集まりやすい公園などが欲しい。若者が気軽に入店できる居酒屋など飲食店を増やして欲しい。狛江市は夜になると暗いイメージがあり少し怖い。結婚支援は賛成。若い人がもっと住んで、街に活気が出て欲しい。
- 勉強できるスペースがあること。結婚祝い金。駅前にもう少し飲食店が欲しい。
- 勉強などができるフリースペースが欲しいです。

## 情報提供・周知

---

- 「公的支援」という雰囲気には抵抗がある人は多いと思うので、内容もですが実態（写真・動画・感想）が調べればすぐに見えるなど、すぐにイメージできることが第一かと思います。
- 1人で暮らす人にも支援してほしいが、もっと情報がわかる様にしてほしい。
- SNS等を使って市の情報や方向性を発信する
- そもそも市がどのような取り組みをしているのか、知らない。同世代の関係性を作るより、違う世代との交流が出来るイベントがあれば良いと思います。（お年寄りの方、若者、学生）
- 今あるサービスの周知。今回のアンケートで多くの施策が行われていることを知ることができたが、そうでなければ知る機会が少なかった。配布物やSNSなどで知ってもらふ機械を増やすべきだと思います。
- 今回のアンケートではじめて活動を知ることが出来、いい機会になりました。今後取り組みが市民に多く知られることを望みます。ありがとうございました。

## イベント・交流の場

---

- イベントが少ない。あってもなんだか残念なので、もっとニーズをとらえて施策をしてほしい。
- 街コンのような機会
- 狛江市内でのイベントの開催
- 出身や趣味、仕事などなにか共通点がある人を合わせるマッチングアプリみたいなものを市が管轄してくれると安心感がある
- もっと同世代の人とも交流できるイベントもあったら機会があれば参加したいと考え



ています。

- 同世代や同じ境遇の人たちとの交流の場。（オンライン・オフライン問わず、コミュニティを作れる場）

## 相談窓口・相談ツール

---

- 相談を気軽にできるツールがあると嬉しいです。
- 気さくに訪ねられる地域コミュニティとして自営をしている人の相談窓口
- 年金・税金等金銭関係のアドバイス、就労支援や近隣病院の案内。個人例として、ADHDを診察出来る病院が自分ではあまり見つけられずもっと知りたいと感じた。市が直接でなくても、アドバイスをする機関の紹介でも構いません。
- 友達関係の悩み相談等、小さな事でも相談する相手が居ないととても辛く、一人で抱えこんでしまうので、気軽に相談、フランクに話せる場が欲しい。

## その他

---

- 行政サービスのICT化 ・市の習い事スクールを若年化する。奨学金支援
- 狛江市は多摩川も近く、友人と一緒によく散歩へ出掛けたりする。若者がよく行くカフェなどが駅周辺にできると嬉しい。
- 狛江市内に通勤・通学が完結している人は少数と思います。小さい頃からこの地で育った人には引き続き市内に居住してもらおう事、新たに市外から転居してもらおう為にもイメージアップも必要と思います。
- 今、私は毎月奨学金を¥30,000くらい支払っています。それが50代まで続く予定です。奨学金を借りた時は、親に「毎月少しずつ返していけば大丈夫!」「お母さんも一緒に返す」と言われ、自分自身よく分からないまま借りました。しかし、今ではそれが凄い負担になっています。親の経済状況も大変で。結局、全額自分が支払っています。（私は高校生から借りました）私は当時、家の経済状況を理解していませんでした。奨学金というのは、金銭感覚がまだしっかりしていない子供も借りれます。期待することは、奨学金の返済が大変だということの説明（返済している人から話を聞く事、実際に大変なことを経験しないと分からない）。奨学金を借りなくても、誰もが教育を受けることになれば一番だと思います。今、奨学金を返済している人も、返済しなくてもいいとなれば、経済的な不安はかなり軽減されると思います。
- 市営ジム
- 住民以外の人があるような魅力的な街づくり。（観光スポット、イベント（街内）、飲食店の充実など）
- 少子化対策をしたいなら、とにかく根本からクリーンな政治、弱者に寄り添える社会づくりを徹底して欲しい。安心して生きていける世の中をつくり、今を生活している人たちの幸福度を底上げすれば自ずと出生率は上がる。
- 図書館等の社会学習環境の整備、喫煙所の段階的縮小・廃止等の健康対策
- 同世代の増加施策。
- 生活における最低限の支援や相談ができる仕組み。どうしても、結婚している家族や子供がいる人に対しての支援等が多いので、独身でいる人に対して、なんらかある

といいと思っています。上手く書けませんが、1人で生きていることが外れているようにされていると、時々感じるがあります。

- 難病の手当てをいただいております、大変たすかっております。
- 日本経済が低迷している今、不安に感じているのは物価高騰による実質収入減を減らしたいです。毎月の奨学金返済や税金の支払いがやはり若者の行動力を抑えている原因になっていると思う。市営ジムとかあれば運動の健康と居場所を享受できると思う
- 労働者や事業者としてのスキルアップや成長の機会を提供する

## 若者生活実態調査の自由記述テキストマイニング結果

### 【居場所についての意見結果】

若者生活実態調査において、狛江市内に相談ができた、居場所となるようなものとして、どのような場所やサービスがあるかと思うかをたずねたところ、66名から回答がありました。

いただいた回答を、文章を統計的に処理するソフトウェアを用いて、どのような場所やサービスを望んでいるかなどの傾向を集計しました。

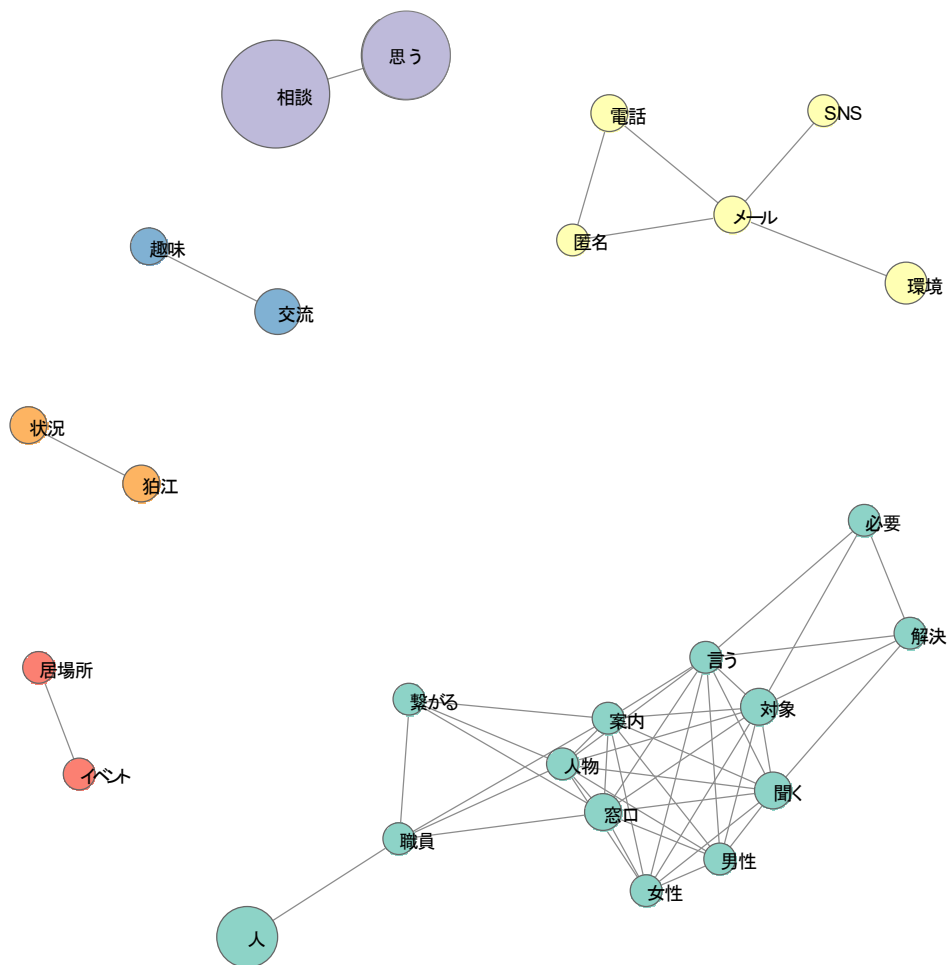
自由記述に頻出した語の上位 150 語は下表のとおり、「相談」という語が最も多く出現し、次いで「場所」「思う」「カフェ」「人」「支援」「サービス」と続きます。

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
相談	34	イベント	3	一緒	2	知識	2	シェア	1
場所	27	コミュニティ	3	運動	2	地域	2	システム	1
思う	23	チャット	3	駅前	2	特定	2	スポーツクラブ	1
カフェ	12	ハローワーク	3	遠い	2	入れる	2	セット	1
人	11	案内	3	会話	2	配属	2	テキスト	1
支援	10	解決	3	活動	2	病院	2	パーティション	1
サービス	8	居場所	3	且つ	2	方法	2	フリーランス	1
若者	8	空間	3	完備	2	無料	2	ベース	1
スペース	7	繋がる	3	感じ	2	夜	2	ボランティア	1
気軽	7	言う	3	気	2	予約	2	メンタルケア	1
交流	6	個室	3	嫌	2	利用	2	ラジオ	1
世代	6	女性	3	個人	2	話	2	リーズナブル	1
環境	5	職員	3	孤独	2	Kベース	1	安め	1
自分	5	色々	3	高齢	2	LINE	1	安定	1
ネット	4	人物	3	参加	2	PR	1	以前	1
メール	4	男性	3	子育て	2	きれい	1	医療	1
行く	4	匿名	3	市	2	たくさん	1	育児パパ	1
狛江	4	入る	3	市内	2	アクセス	1	一人暮らし	1
時間	4	悩み	3	施設	2	アドバイス	1	一定	1
趣味	4	必要	3	自身	2	イス	1	飲み屋	1
集まる	4	問題	3	若年	2	イメージ	1	飲む	1
状況	4	いつ	2	受ける	2	オープンカフェ	1	沿う	1
窓口	4	お金	2	周知	2	オシャレ	1	応じる	1
対象	4	やり取り	2	集まり	2	カウンセラー	1	応援	1
知る	4	オンライン	2	出る	2	カウンター	1	価格	1
電話	4	サークル	2	図書館	2	カテゴリー	1	家族連れ	1
聞く	4	サポート	2	制度	2	キッチンカー	1	家賃	1
話す	4	ジム	2	専門	2	グループワーク	1	河川敷	1
話せる	4	テーブル	2	対面	2	コミュニケーション	1	課題	1
SNS	3	プライバシー	2	大事	2	ゴミ	1	過小	1

また、結びつきの強い傾向にある語同士を色分けしたものが下記の共起ネットワークの図です。色分けは絶対的なものではなく、どのような場所やサービスを望んでいることがどのような要素からなるのかを、視覚的に見ていきます。

総体的に用語の出現回数が少ないため、円が大きくなっています。また、用語の出現回数が多くて共起性が低いために表示されない語があります。

- 黄色、紫色は、相談方法など相談について。
  - 青色は、共通の趣味を持つ人など人との交流など。
  - 緑色は、市の相談窓口や対応する職員のことなど。
  - 朱色は、イベントとなる居場所など。
- 以上のように、回答の主な要素と読むことができます。

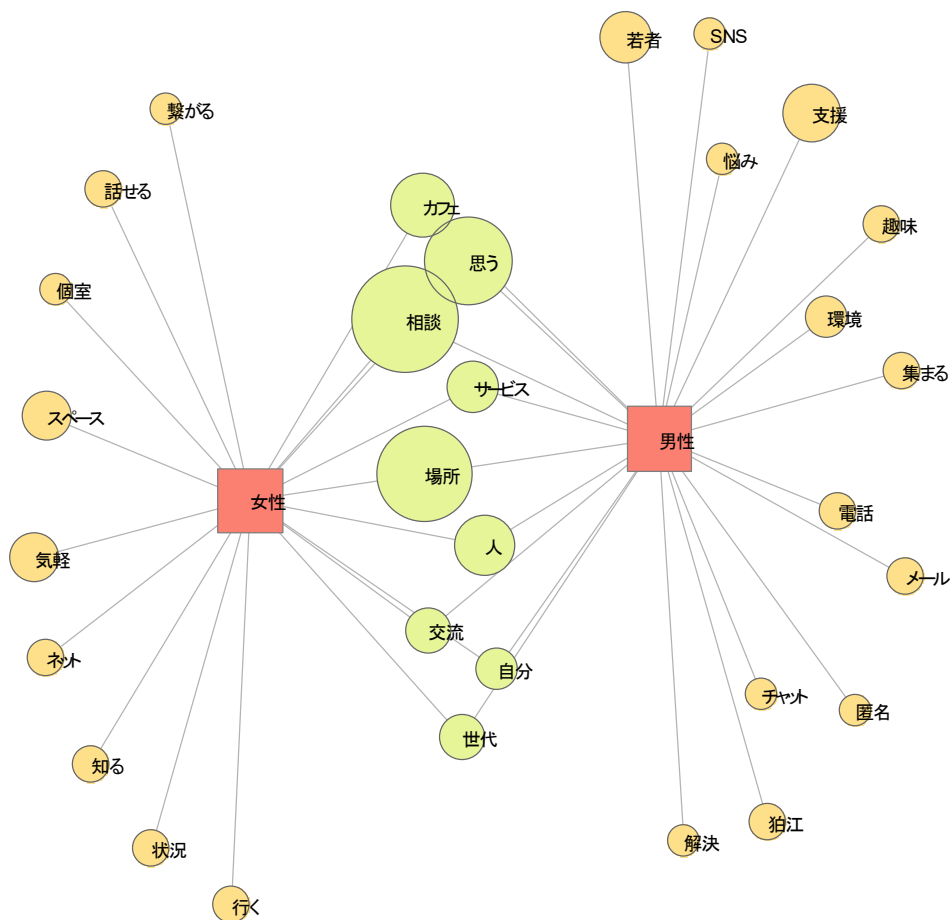


性別に語の特徴を示した共起ネットワークの図が下記になります。

各カテゴリと線で結ばれた語はそのカテゴリにおいて頻出しているものです。また、複数のカテゴリで結ばれている語（黄緑色の語）は、結ばれている全てのカテゴリで頻出している語であり、円が大きいほど出現の回数が多いことを表しています。

女性では、気軽に行けるネット環境の整った場所、相談スペースなどの意見がありました。男性では、電話、メール、SNS、対面などの相談の方法などの意見がありました。

男女共通では、カフェのような相談できる場所やサービス、同世代の人との交流などの意見がありました。



## 【市に期待する取組の意見結果】

若者生活実態調査において、これからの若者のために、市に期待する取組をたずねたところ、98名から回答がありました。

文章を統計的に処理するソフトウェアを用いて、狛江市に期待する取組の傾向を集計しました。

期待する取組として頻出した語の上位150語は下表のとおり。「思う」が最も多く、次いで「支援」

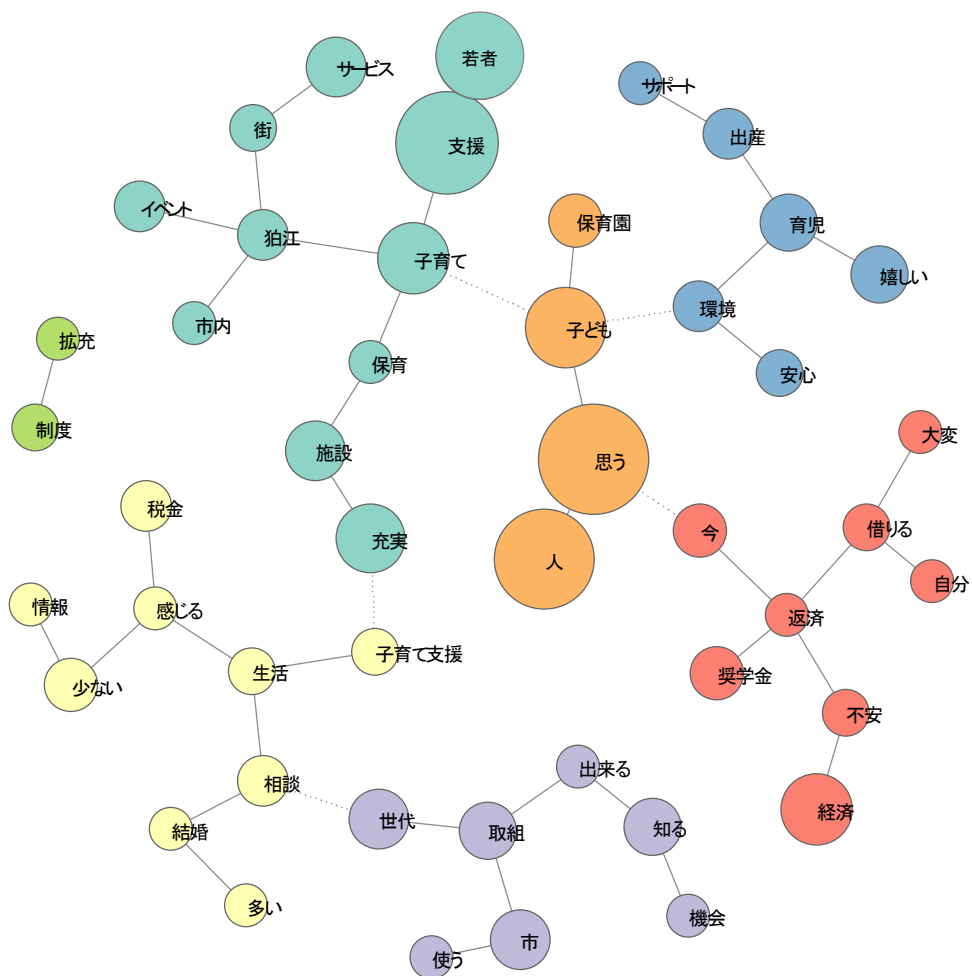
「人」「若者」「子ども」「経済」と続きます。

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
思う	34	子育て支援	6	交流	4	場	3	ケア	2
支援	29	借りる	6	事業	4	状況	3	ゴミ	2
人	28	所得	6	児童	4	親	3	ジム	2
若者	21	制度	6	社会	4	世帯	3	スペース	2
子ども	18	生活	6	住む	4	制限	3	ツール	2
経済	14	不安	6	住民	4	政策	3	一時	2
子育て	14	補助	6	助成	4	生きる	3	一番	2
充実	13	サポート	5	上がる	4	増やす	3	引き続き	2
サービス	10	拡充	5	場所	4	増設	3	家	2
市	10	感じる	5	人口	4	待機	3	改善	2
施設	10	機会	5	整備	4	地域	3	開催	2
世代	10	結婚	5	税	4	入る	3	学習	2
育児	9	健康	5	難しい	4	物価	3	学童	2
嬉しい	9	使う	5	妊娠	4	分かる	3	活気	2
経済的支援	9	市内	5	負担	4	毎月	3	観光	2
取組	9	自分	5	アンケート	3	民間	3	還元	2
知る	9	手当て	5	コミュニティ	3	問題	3	議員	2
今	8	出来る	5	スポーツ	3	優遇	3	給与	2
奨学金	8	情報	5	一緒	3	預ける	3	居る	2
少ない	8	多い	5	飲食	3	利用	3	居場所	2
保育園	8	大変	5	学生	3	SNS	2	共働き	2
イベント	7	返済	5	給付	3	ありがとう	2	勤務	2
環境	7	保育	5	教育	3	お願い	2	近い	2
狛江	7	安い	4	行う	3	お金	2	結局	2
出産	7	援助	4	高齢	3	もう少し	2	結婚支援	2
税金	7	関係	4	仕事	3	アドバイス	2	見える	2
相談	7	期待	4	市民	3	イメージ	2	見つける	2
増える	7	気軽	4	市役所	3	カフェ	2	減らす	2
安心	6	金銭	4	施策	3	キャリア	2	言う	2
街	6	減る	4	少し	3	クリーン	2	考える	2

また、結びつきの強い傾向にある語同士を色分けしたものが下記の共起ネットワークの図です。色分けは絶対的なものではなく、狛江市に期待する取組がどのような要素からなるのかを視覚的に見ていきます。

総体的に用語の出現回数が少ないため、円が大きくなっています。また、用語の出現回数が多くても共起性が低いために表示されない語があります。

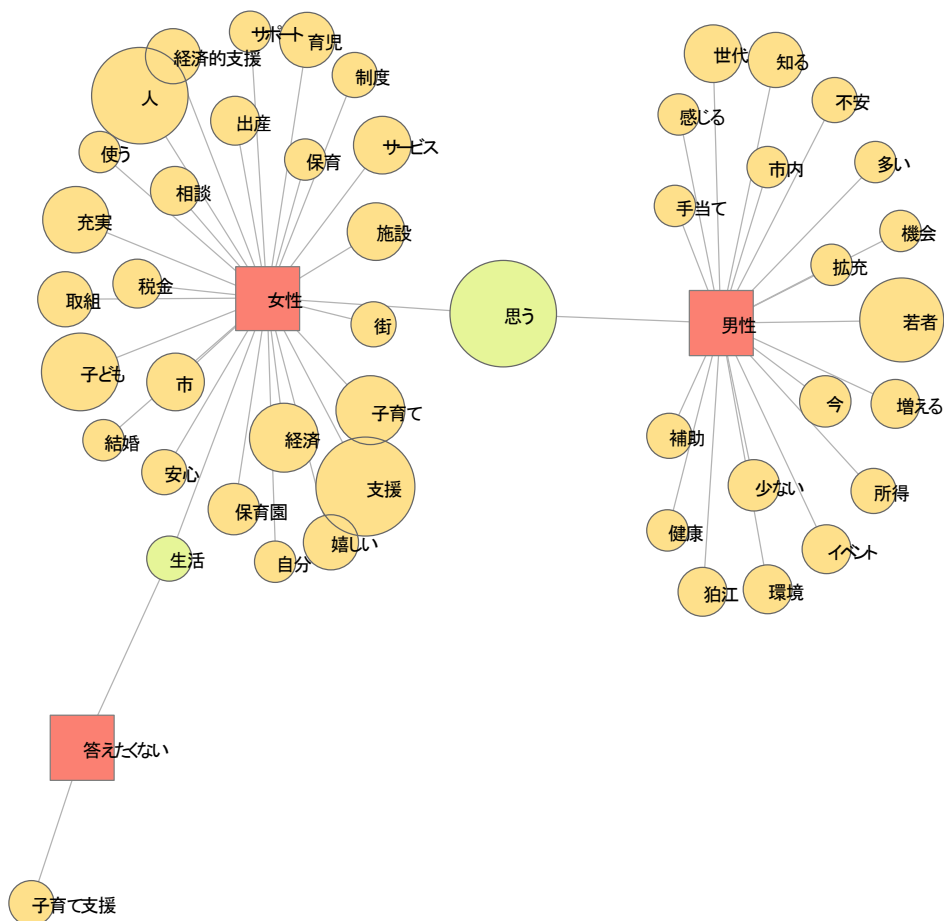
- 緑色は、子育て世代や若者への支援、サービス、保育施設の充実、イベントの開催など。
- 青色は、出産や育児へのサポートや環境の整備など。
- 橙色は、保育園など子どもの教育・保育環境など。
- 紫色は、市の取組を知る機会など。
- 朱色は、奨学金の返済など経済的な意見。



性別に語の特徴を示した共起ネットワークの図が下記になります。

各カテゴリと線で結ばれた語はそのカテゴリにおいて頻出しているものです。また、複数のカテゴリで結ばれている語（黄緑色の語）は、結ばれている全てのカテゴリで頻出している語であり、円が大きいほど出現の回数が多いことを表しています。

女性では、出産、育児、保育園などの子育て支援やサービス、経済的支援を期待する意見が多く、男性では、公営ジムや喫煙所の廃止など健康に対する支援、人との交流ができるイベントの開催や若者世代への住宅補助などを期待する意見が多くなっています。





登録番号（刊行物番号）

R5-58

## 狛江市 若者生活実態調査集計報告書

---

令和6年3月発行

発行 狛江市

編集 狛江市子ども家庭部子ども政策課  
狛江市和泉本町一丁目1番5号

電話 03(3430)1111

印刷 庁内印刷

頒布価格 70円